

入学試験問題

(食物栄養学科・保育学科)

〈R 5～R 7 年度〉

I. 【特別奨学生】適性検査(日本語) … 両学科共通

II. 【特別奨学生・一般・社会人】小論文 … 学科別

III. 【一般】数学 …………… 両学科共通

函館短期大学 入試広報課

〒042-0955 北海道函館市高丘町 52-1

Tel 0120-57-1820

FAX 0138-59-5549

Ⅰ.【特別奨学生】適性検査(日本語)

【設問】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひとはさまざまな理由から旅に上るであろう。ある者は商用のために、他の者は視察のために、さらに他の者は休養のために、またある一人は①シンセキの不幸を見舞うために、そして他の一人は友人の結婚を祝うために、というように。人生がさまざまであるように、旅もさまざまである。しかしながら、どのような理由から旅に出るにしても、すべての旅には旅としての②共通の感情がある。一泊の旅に出る者にも、一年の旅に出る者にも、旅には相似た③感情がある。あたかも、人生はさまざまであるにしても、短い一生の者にも、長い一生の者にも、すべての人生には人生としての共通の感情があるように。

旅に出ることは日常生活環境を脱けることであり、平生の習慣的な関係から逃れることである。旅のうれしさはかように解放されることの嬉しさである。ことさら解放を求めている旅でなくても、旅においては誰も何等か解放された気持ちになるものである。ある者は実に人生から脱出する目的をもつてさえ旅に上るのである。ことさら脱出を欲してする旅でなくても、旅においては誰も何等か脱出に類する気持ちになるものである。旅の対象としてひとの好んで選ぶものが多くの場合自然であり、人間の生活であっても④ゲンシ的な、自然的な生活であるというのも、これに関係すると考えることができるであろう。旅におけるかような解放ないし脱出の感情にはつねにある他の感情が伴っている。すなわち旅はすべての人に多かれ少なかれ漂泊の感情を抱かせるのである。解放も漂泊であり、脱出も漂泊である。そこに旅の感傷がある。

漂泊の感情はある運動の感情であって、旅は移動であることから生ずるといわれるであろう。それは確かにある運動の感情である。けれども我々が旅の漂泊であることを身にしみて感じるのは、車に乗って動いている時ではなく、むしろ宿に落着いた時である。漂泊の感情は単なる運動の感情ではない。旅に出ることは日常の習慣的な、したがって安定した関係を脱することであり、そのために生ずる不安から漂泊の感情が湧いてくるのである。旅は何となく不安なものである。しかるにまた漂泊の感情は遠さの感情なしには考えられないであろう。そして旅は、どのような旅も、遠さを感じさせるものである。この遠さは何キロと計られるような距離に関係していない。毎日遠方から汽車で事務所へ通勤している者であっても、彼はこの種の遠さを感じないであろう。ところがたとえそれよりも短い距離であっても、一日彼が旅に出るとなると、彼はその遠さを味わうのである。旅の心は⑤遙かであり、この遙けさが旅を旅にするのである。それだから旅において我々はつねに多かれ少なかれ⑥浪漫的になる。浪漫的心情というのは遠さの感情にほかならない。旅の面白さの半ばはかようにして⑦想像力の作り出すものである。旅は人生の⑧ユートピアであるときえいうことができるであろう。しかしながら旅は単に遙かなものではない。旅はあわただしいものである。かばん一つで出掛ける簡単な旅であっても、旅には旅のあわただしさがある。汽車に乗る旅にも、徒歩で行く旅にも、旅のあわただしさがあるであろう。旅はつねに遠くて、しかもつねにあわただしいものである。それだからそこに漂泊の感情が湧いてくる。漂泊の感情は単に遠さの感情ではない。遠くて、しかもあわただしいところから、我々は漂泊を感じるのである。⑨遠いと定まっているものなら、何故にあわただしくする必要があるであろうか。それは遠いものでなくて近いも

のであるかも知れない。いな、旅はつねに遠くて同時につねに近いものである。そしてこれは旅が過程であるということの意味するであろう。旅は過程であるゆえに漂泊である。出発点が旅であるのではない、到着点が旅であるでもない、旅は絶えず過程である。④ただ目的地に着くことをのみ問題にして、途中を味わうことができない者は、旅の真の面白さを知らぬ者といわれるのである。日常の生活において我々はつねに主として到達点を、結果をのみ問題にしている、これが行動とか実践とかいうものの本性である。しかるに旅は本質的に*観想的である。旅において我々はつねに見る人である。平生の実践的生活から脱け出して純粹に観想的になり得るということが旅の特色である。旅が人生に対して有する意義もそこから考えることができるであろう。

⑤何故に旅は遠いものであるか。未知のものに向かってゆくことである故に。日常の経験においても、知らない道を初めて歩く時には実際よりも遠く感じるものである。仮にすべてのことが全くよく知られているとしたなら、日常の通勤のようなものはあっても本質的に旅というべきものはないであろう。旅は未知のものに引かれてゆくことである。それだから旅には漂泊の感情が伴ってくる。旅においてはあらゆるものが既知であるということはあり得ないであろう。なぜなら、そこでは単に到着点あるいは結果が問題であるのではなく、むしろ過程が主要なのであるから。途中に注意している者は必ず何か新しいこと、思い設けぬことに会おうものである。旅は習慣的になった生活形式から脱け出ることであり、かようにして我々は多かれ少なかれ新しくなった眼をもつて物を見ることができるようになっており、そのためにまた我々は物において多かれ少なかれ新しいものを発見することができるようになっている。平生見慣れたものも旅においては目新しく感じられるのがつねである。旅の⑥リエキは単に全く見たことのない物を初めて見ることにあるのでなく、——全く新しいと言いつけるものが世の中にあるであろうか——むしろ平素自明のもの、既知のもののように考えていたものに驚異を感じ、新たに見直すところにある。⑥我々の日常の生活は行動的であつて到着点あるいは結果にのみ関心を向け、その他のもの、途中のもの、過程は、既知のもののごとく前提されている。毎日習慣的に通勤している者は、その日、家を出て事務所に来るまでの間に、彼が何をなし、何に会ったかを恐らく想い起こすことができないであろう。しかるに旅においては我々は純粹に観想的になることができる。旅する者は為す者でなくて見る人である。かように純粹に観想的になることによって、平生既知のもの、自明のものと前提していたものに対して我々は新たに驚異を覚え、あるいは好奇心を感じる。旅が経験であり、教育であるのも、これによるのである。

人生は旅、とはよくいわれることである。⑦芭蕉の奥の細道の有名な句を引くまでもなく、これは誰にも⑧イツサイならず迫ってくる実感であろう。人生について我々が抱く感情は、我々が旅において持つ感情と相通ずるものがある。それは何故であろうか。

どこからどこへ、ということは、人生の根本問題である。我々はどこから来たのであるか、そしてどこへ行くのであるか。これがつねに人生の根本的な謎である。そうである限り、人生が旅のごとく感じられることは我々の人生感情として変わることがないであろう。いったい人生において、我々はどこへ行くのであるか。我々はそれを知らない。人生は未知のものへの漂泊である。我々の行き着くところは死であるといわれるであろう。それにしても死が何であるかは、誰も⑨メイリヨウに答えることのできぬものである。どこへ行くかという問いは、ひるがえって、どこから来たかと問わせるであろう。過去に対する配慮は未来に対する配慮から生じるのである。漂泊の旅にはつねにさだかに捉え難い*ノスタルジャが伴っている。人生は遠い、しかも人生はあわただしい。人生の⑩行路は遠くて、しかも近い。死は刻々に

我々の足もとにあるのであるから。しかもかくのごとき人生において人間は夢みることをやめないであろう。我々是我々の想像に従って人生を生活している。人は誰でも多かれ少なかれ*ユートピアンである。旅は人生の姿である。旅において我々は日常的なものから離れ、そして純粹に観想的になることによって、平生は何か自明のもの、既知のもののごとく前提されていた人生に対して新たな感情を持つのである。旅は我々に人生を味わわせる。あの遠さの感情も、あの近さの感情も、あの運動の感情も、私はそれらが客観的な遠さや近さや運動に関係するものでないことを述べてきた。旅において出会うのはつねに自己自身である。自然の中を行く旅においても、我々は絶えず自己自身に出会うのである。旅は人生のほかにあるのではなく、むしろ人生そのものの姿である。

既にいったように、ひとはしばしば解放されることを求めて旅に出る。旅は確かに彼を解放してくれるであろう。けれどもそれによつて彼が真に自由になることができると思えるなら、間違ひである。解放というのはある物からの自由であり、このような自由は⑧消極的な自由に過ぎない。旅に出ると、誰でも出来心になりやすいものであり、気まぐれになりがちである。人の出来心を利用しようとする者には、その人を旅に連れ出すのが手近な方法である。旅は人を多かれ少なかれ冒険的にする、しかしこの冒険といえども出来心であり、気まぐれであるであろう。旅における漂泊の感情がそのような出来心の根底にある。しかしながら気まぐれは真の自由ではない。気まぐれや出来心に従つてのみ行動する者は、旅において真に経験することができぬ。旅は我々の好奇心を活発にする。けれども好奇心は真の研究心、真の知識欲とは違つてゐる。好奇心は気まぐれであり、一つの所に停まつて見ようとはしないで、次から次へ絶えず移つてゆく。一つの所に停まり、一つの物の中に深く入つてゆくことなしに、いかにして真に物を知ることができようか。好奇心の根底にあるものも定めなき漂泊の感情である。また旅は人間を感傷的にするものである。しかしながらただ感傷に①ヒタつていては、何一つ深く認識しないで、何一つ独自の感情を持たないでしまわねばならぬであろう。真の自由は物においての自由である。それは単に動くことなく、動きながら止まることであり、止まりながら動くことである。動即静、静即動というものである。⑨人間到る処に青山あり、という。この言葉はやや感傷的な①キラいはあるが、その意義に徹した者であつて真に旅を味わうことができるであろう。真に旅を味わい得る人は真に自由な人である。旅することによつて、賢い者はますます賢くなり、愚かな者はますます愚かになる。日常交際している者がいかなる人間であるかは、一緒に旅してみるとよく分るものである。人はその人それぞれの旅をする。旅において真に自由な人は人生において真に自由な人である。人生そのものが実に旅なのである。

(三木清「人生論ノート」より一部改変)

*平生(へいぜい) 普段、いつも、常日ごろ。

*浪漫的 感情的、理想的にものごとをとらえること。夢や空想を追い求めること。

*ユートピア 理想郷、理想的な社会。(ユートピアン) 空想家・夢想家。

*観想的 思いを凝らして、真をつかむこと。

*ノスタルジャ 異郷にいて、故郷をなつかしむ気持ち。

問一 傍線部①について、筆者が述べる「共通の感情」として最も適切な語句を、次のア～カの記号から一つ選びなさい。

ア 脱出 イ 解放 ウ 運動 エ 不安 オ 漂泊 カ あわただしさ

問二 傍線部②について、ここでいう「想像力」のはたらきを述べた次の説明のうち、最も適するものをア～エの記号から一つ選びなさい。

ア 近くへの小さな旅であっても、平生の習慣に縛られた自分を解放するために、時間的・空間的に遠くに存在しているのだということを自覚させようとする。

イ 習慣化された日常生活から遠ざかり生じる不安によって、自分自身の既知の認識や感覚が捉えなおされ、旅のなかに新たな感情や理想を見出す。

ウ 自ら選択した目的地に到着するまでに、移動の過程で改めて出会う自分自身の物の見方や感じ方を豊かにしておくことで、到着の感動を高めようとする。

エ 自然に抱かれ、心躍る感情に身をゆだねるなかで、自分自身のユートピア的な環境に近づき慣れ親しませていこうとする。

問三 傍線部③について、この一文に使われている修辞（表現を豊かにするための技法）を、次のア～オから、一つ記号で選びなさい。

ア 倒置 イ 反語 ウ 省略 エ 疑問 オ 隠喩

問四 傍線部④の内容を端的な表現で言い換えている言葉が本文にあります。三文字で抜き出して書きなさい。

問五 傍線部⑤「何故に旅は遠いものであるか。未知のものに向かってゆくことである故に。」という表現について、この二文からなる表現の説明について正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 後の文は前の文の意味合いを推測している。

イ 後の文は前の文を抽象化し強調している。

ウ 後の文は前の文を具体化し明確にしている。

エ 後の文は前の文で問うた内容の理由を簡潔に述べている。

問六 傍線部⑥について、この一文が表現している内容は、別の個所でも同様に一文で述べられています。その一文をこの表現より前の本文から抜き出し、その最後の五文字を書きなさい。

問七 傍線部⑦について、次の芭蕉の句の中から、季語が夏ではないものを、ア～オの記号から一つ選び書きなさい。

- ア 五月雨を 集めて早し 最上川
- イ 古池や 蛙飛び込む 水の音
- ウ あらたふと 青葉若葉の 日の光
- エ 閑さや 岩にしみ入る 蟬の声
- オ 荒海や 佐渡に横とう 天の川

問八 傍線部⑧の「消極的な自由」であると筆者が述べる前提になっている考え方について、次の解説の内容からもっとも適するものをア～オの記号から一つ選びなさい。

- ア 旅する者は、自然に対し深く自分を投影して一体となることで、本来の自分自身をとりもどせるので、平生からの脱出を試みる自然体験こそが自由への道であるから。
- イ 好奇心こそが旅の面白みであり、出来心や気まぐれによって出会う偶然的な環境に自分自身を積極的にゆだねることで、真の自由に出会えるから。
- ウ 束縛的な日常を離れることで得られる解放感は旅先でしか得られないので、好奇心や冒険心をたかめることで真の自由を得られるはずだから。
- エ 漂泊の感情を伴う旅は、既知のことからでさえ新たな感情を得たり、認識の深まりが生じたりして、単なる解放感だけではない自由そのものを人生に与えることになるから。
- オ 到着地や目的地の宿で得られる安心だけではなく、移動という過程の環境をも積極的に味わおうとすることで、人生そのものに深まりが生じるから。

問九 傍線部⑨「人間到る処に青山あり」の意味を次のア～オから一つ記号で選びなさい。

- ア 望みをかなえるためには、故郷にこだわらず、広い世間に出て活動すべきであるということ。
- イ 人生の長い道のりには、かならず豊かに過ごせる時期があるということ。
- ウ 人生は旅のごとく、あちこちで大切な人との出会いが確実にあるということ。
- エ 自分自身の内面には、必ず興味や関心のある才能があるので探し続けよということ。
- オ 人生は山あり谷ありが当たり前だから変化する環境を素直に受け止めること。

問十 傍線部⑩について漢字は読み方をひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

令和七年度 特別奨学生学校推薦型選抜 適正検査

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十			
①	②	③	④
つ		か	
て			
⑤	⑥	⑦	⑧
い			
		⑨	⑩

得 点

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一
オ

5

二
イ

10

三
イ

5

四
為
す
者

10

五
エ

10

六
性
で
あ
る
。

10

七
オ

10

八
エ

10

九
ア

10

+			
①	⑧	④	③
浸	明瞭	は	親戚
って		る	
②	⑨	⑤	⑥
嫌	こうろ	利益	かんかい
い		⑦	①
		一	原始
		再	

各2

得 点
100

20

10

10

10

20

15

15

【設問】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

お能にもお茶にも型というものがあります。

およそ世の中に、型にはまる、という事位理想的なことはありません。何でも型にはめさえすれば、間違いは起こり得ないのです。又、型にはまらなければ、型を破ることも出来ないのです。

若い人達は、とかく型にはまる事をいやがります。自由であること、――成程それ以上のいいことは無い様です。けれども、見渡した所世の中には、型にあらざる物はないといっても言いすぎではない程、上は宗教から、芸術から、生活に至るまで型にはまってない物は一つとしてありません。言葉でも、衣類でも、食器でも、法律でも、教育でも、習慣でも、紙でもペンでも。虎の皮を腰にまいた*ケープ・マンにならないかぎり、①「世の中」という一つの枠は、私達をかたくきつくしぱりあげています。それも、たった一人で、②ジンセキ絶えた山奥にでも住まぬ以上、そうです。一人でも、人間にあつたら、もう其処に一つの約束が出来上がります。それがいやなら、相手を殺してしまうより他ありません。③メンドウくさいきずなを、こんがらかった糸でも切る様に、ズタズタに切りさかぬかぎり、社会人たる私達は、何をいおうと、型にはまらないで暮らすわけには行きません。④思えば、自由ということは、実に淋しいことであるのです。

利休も世阿弥も、⑤私達不自由な者からみれば、お茶やお能をつくったという事において、羨むべき幸福な人達であります。が、おそらく彼等に言わせたなら、彼らほど不幸で、淋しい人間は居ない、というにきまって居ると思います。天才は、いつもたった一人で話し相手を持ちません。言っても仕様のないこと、そうかと云って、言わないでも仕様のないこと。そういう気持ちをもぎらわす為に、利休には茶、世阿弥には能が必要でありました。まぎらわす、というよりも、もっと切実に、芸術がなかったら、彼らは生きては行けなかった。それだけがたよりであつたのです。

一本の*茶杓をけずる時でも、利休はおそらく、⑥そういうあきらめの心とともに、その竹の一片に彼の肉体と精神をまかせきつたことと思います。利休はそのささやかな物を自分と同じ位愛したと同時に、そんなものはどうでもよかったに違いありません。何かのはずみで、⑦後世に残って、まるでお筆先みたいな、尊い物となつて、ある人々に⑧渴仰されようと、「何だ、つまらない竹細工じゃないか」とある人々に言われようと、そんな事はどちらでも同じです。死ぬ時に、「無用の物」と云って、愛用した茶碗を毀したのも、⑨利休が、自分の死とともに、茶器も茶道も、みんな一緒に滅びる、という事を信じていたからです。

事実、茶道は利休とともに滅びました。お寺の鐘がなる様に、なつた後は、それは音ではなくひびきです。その美しい余音を少しでも長くとどめておこうとして、後の人々は、おろかな努力をこころみます。本人にはちつとも型をつくる気はなかったのに、その人々が利休をしのぶあまりに、茶道の型をでっちあげたのです。それは、しかし天才ならぬ我々にとって、唯一の、利休へ近づく道であります。型を破る、などという事は、ほんと云えば、利休までもけつとばしてしまふ位の自信ある、そして利休以上の天才でないかぎり、そんなことは出来ないのです。

しかし、いかに凡人とは云え、私達は、皆十人十色の、利休さえ似る事の出来ぬ人間であります。大きな型は同じであろうとも、一人ひとりで少しずつ違いもし、発達もいたします。茶器といった様な、^⑥物質であればこそ、利休の持っていた、それと同じものを目に見る事が出来るでしょうが、お茶の型といった様なものは、^⑦コツカクが違ふ以上、同じ形でやる事は決して出来ません。いいえ、心が同じでない以上、茶碗一つでも、同じ物を見る人の精神に与えるとは限りません。^⑧外から見た所では、皆一様の骨董いじりにすぎない様ですが、ほんとにそうかどうかは、実際のところ解る筈の物ではありません。

型というものは、物質ではありません。たましいという物も、ちよつとした違いで物質ではないのです。ちよつとした違い、——実は大きな違いです。たとえば利休の死骸は、もう生きてはいないのですから、物質同然でしょうが、利休が発見した茶碗とか、利休がこしらえた茶杓とか、茶道の型とかには、彼のたましいが入っています。^⑨まったく、利休の意に反して、たましいだけが残ってしまったのです。死にあたって、茶碗をこわした事は、一つの示威運動です。即ち、芸術です、^⑩ソウサクです。あらゆる時にあたって、物を見出し、物をつくった利休は、その度に、型をつくっているのです。^⑪人の為にではない、まったく自分の為に型をつくり、つくるやそれをこわすのです。^⑫そして、最後に、大事な茶碗を割ることによって、茶の精神に^⑬チュウジツであらうとしました。己がたましいに自由を与えようとしたのです。

現代の私達にとって、殆ど、未開の地といえる物はありません。科学でも、もはや目に見えぬ^⑭ビサイな物を相手に研究を続ける他はありません。^⑮古代の鷹揚な芸術も、長い間にきわめつくされ、深く細くなりゆくばかりです。芸術も、思想も、あらゆる物は出来上がっています。^⑯折角、自分だけの特別あつらえと思つても、すぐ後で、自分で発見したり人が教えてくれたりして、既にあつた物である事を知つてがっかりします。人の物でも又そうです。

みんな手軽に「自由」を云々しますけれど、私には出来ません。これ程むつかしい事はなく、それだけに、これ程ほしい物もあります。^⑰私達にとって出来る唯一の方法は、すべての事において、なるべく早く型を覚えること、なるべく早く既成の型にはまりきってしまう事以外にはないのではないかと思います。それで終わつても仕方ありません。終わつたところで、つまらないが間違ひだけはなす事です。そして、型を破ることがもし出来たとしても、それさえ既に、「型破り」という一つの型をつくることになります。^⑱自分が一番大事にして居る物をこわしたからとて、今ではもう誰も^⑲カンシンしてはくれません。それは、利休とか他のものもろの芸術家達のやつた、型どおりの事をおこなつたにすぎないからで……そもそも「型破り」なんて物も、とうの昔から色々の人々によって実験ずみの事なのです。

実に人間は、天才も凡人も、こぞつて、あらゆることをこころみた様です。いかに「人に異ならむ思ひこのめる」人であつても、^⑳ゾクに言う個性とか、変わった性格といった様なものは、しよせん人の使い古しにすぎません。^㉑無論自慢するに足るものではありません。

もはや私にとって、自由とは「^㉒」以外の事は考えられません。形のない水の様な液体が、いかなる器にも、器なりに自由に流れこむ事が出来る様に。

(白洲正子『たしなみについて』より一部改変)

* ケーブ・マン 「石器時代の」穴居人、洞穴に住む人。

* 茶杓(ちゃしゃく) 茶道で抹茶をすくう細長い(さじ)。

問一 傍線部①『世の中』という一つの枠は、私達をかたくきつくしぱりあげています。」について、「世の中」はどうしてそのような仕組みになるのか、筆者の考えかたとして、明らかに誤っている説明について、次のア～キの記号のなかからひとつ選びなさい。

ア 歴史が築いた地域性によって、そこに暮らす集団の生活や精神的スタイルは習慣化されていくものであるから

イ 複数の人間が集団で暮らすためには秩序を保つための約束事をもつ必要性が生じるから
ウ 様々な不利益が一部の人間にだけ降りかかることで、人々に感情の格差や不公平感などが生じないようにする必要があるから

エ 経済格差や手に入れた権力などにより生じた優位な立場を他者から守り抜くための必要が生じるから

オ 社会に暮らす人々は様々な情報を伝え合うために、共通の手段を用いる必要が生じるから
カ 社会で自立できる人間を育成するシステムをつくり上げるためには、効率的かつ共通性をもった方法で行う必要が生じるから

キ 多様な価値観を持つ集団には心の拠り所をもつための象徴や機会の必要が生じるから

問二 傍線部②「思えば、自由ということは、実に淋しいことであるのです。」と述べる筆者の考え方として最も適切な説明について、次のア～オの記号のなかからひとつ選びなさい。

ア 天才は「世の中」を超えたところでしか自らをあらわすことができず、「世の中」には理解されにくい不幸のなかでしか自らをあらわすことができないものだから

イ 眺めてみれば「世の中」には本当の自由をわかっている才能ある若い人達が極めてすくない状況であることを嘆いているから

ウ すべての枠の中で行われる仕組みによって出来上がっている「世の中」であることに、凡人は気づかずにいるのが残念だから

エ 「世の中」において天才たる存在が真に自らをあらわし得るためには、無理解な人間を排除するか、争うことぐらいでしか手段を持てないから

オ 「世の中」の型にはまらない方法で自由を得るということは、凡人にはできないことだと知ってあきらめているから

問三 傍線部③「私達不自由な者」とほぼ同じ意味をもつ表現を、傍線部③より後の部分から、同じく七文字程度で抜き出して書きなさい。

問四 傍線部④「そういうあきらめの心」をもつ利休の内面を具体的に想像しながら説明している部分の具体部分を、連続した二文で抜き出し、その一文目の最初の五文字を書きなさい。

問五 傍線部⑤「利休が、自分の死とともに、茶器も茶道も、みんな一緒に滅びる、という事を信じていたからです。」という境地をあらわす四字熟語があります。『一生に一度きりである』という意味をもつ、その言葉を漢字で書きなさい。

問六 傍線部⑥「物質であればこそ」という表現について。

(1) この表現をすべて品詞に分解したうえで、その品詞部分を順番に辞書に載る形(活用のある品詞は終止形で)で解答欄に書きなさい。(もし解答欄が余った場合は斜線を引くこと)

(2) この表現は前後の文章との関係上、どのようなはたらきをもちますか。次のア～キの記号のなかから適切なものをひとつ選びなさい。

ア 類推 イ 並列 ウ 程度 エ 添加 オ 強調 カ 例示 キ 限定

問七 傍線部⑦「まったく、利休の意に反して、たましいだけが残ってしまったのです。」について、そうなってしまった理由をのべている一文を抜き出して、その最初の五文字を書きなさい。

問八 本文中には、「すべてがレディ・メイドとは、何というつまらない世の中でしょう。」という一文が抜けています。本文中にある(ア)～(ク)のうち、どこに入るでしょうか。ア～クの記号のなかからひとつ選び書きなさい。

問九 「⑧」に入る筆者の考えを「型」・「自由」というふたつの単語を使って書きなさい。文字数は十字以上十六字以内とします。

問十 傍線部⑨～⑪について漢字は読み方をひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一

二

三

四

五

六
(1)
(2)

七

八

九

十
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

得 点

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一
エ

10

二
ア

10

三
天才ならぬ我々

10

四
天才は、い

10

五
一期一会

5

六
(1) 物質 だ ある ば こそ
/
(2) オ

完全(10)

七
本人には ち

10

八
オ

5

九
自分で 由に どの ん な 型 に

同意OK
10

十			
① 俗	② 忠実	③ かつぎょう	④ 人跡
⑤ 微細	⑥ 骨格	⑦ 面倒	
⑧ 感心	⑨ 創作	⑩ こうせい	

各2

得 点

日本語【問題】

【設問】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ブッシュマンの男たちが狩に使う弓は、素朴でかわいく、一見おもちゃのように見える。彼らはサバンナに生える灌木の葉を①ソいで繊維を取り出し、縄状に②アんで弦をつくる。胴は弾力性に富んだ柳科の木の枝。道具らしい道具はほとんど使わず、自然の素材を使い、すべて手作り、わずか半日ほどで一本の弓をつくってしまう。このやり方はたぶん、数万年間変わっていない。

ナミブ砂漠のブッシュマンの聖地に遺された二万年前の線刻画に、この弓を使って狩をする彼らの祖先の姿が描かれているからだ。ブッシュマンの人々は、およそ二万年もの間道具をほとんど進歩（※）。これにくらべて、西洋文明に代表される人々は、よりたやすく、より正確に、大量に獲物を獲得するために次々と道具を進歩させ、強力な弓をつくり、銃を生み、マシンガンを発明し、ついにはミサイルをつくってしまった。

㉠道具を進歩（※）人々のことを西洋近代文明は、「未開人」と呼んで長い間㉡蔑んできた。彼らを「知能」の劣った人々だ、と思い込んできたのだ。

㉢ブッシュマンの人々が道具を進歩（※）のには深い理由があり、そこには、自然と調和しながら生きる彼らの、素晴らしい叡知が隠されていたのだ。

㉣ブッシュマンの弓の射程距離は二、三十メートル、㉤一矢で倒すことのできるの、せいぜい鳥か兎などの小動物にすぎない。しかし彼らは、その小さな弓で自分たちのからだの数倍も大きな鹿や、時には象さえ倒して、数万年の間、生きる㉥カテを得てきた。

これにくらべて、現代の密猟者が使うマシンガンの㉦イリヨクは桁違いだ。彼らは数百メートルも離れた距離から象の群れを襲い、年寄りから赤ちゃんまで一気に無差別に殺してしまう。確かに「象を仕留める」という結果だけからみれば、弓よりマシンガンのほうがずっと効果的で正確だろう。何より、人間は「楽」ができる。だから人間は、弓という道具を進歩させてマシンガンをつくったのだ。しかし、㉧そのことによって、最も大切なものを失ってきた。まず、弱い弓を使って、目標である動物に正確に矢を当てるためには、どうしてもその動物のすぐ側まで接近しなければならない。【㉨i】、近づけば近づくほど、動物は気づいて逃げてしまう。【㉨ii】、弱い弓を使って狩をするには、まず警戒心を起こさせずに動物に近づくことができるか否かが鍵になる。

㉩ブッシュマンの狩人たちはみな、その能力を身につけていた。自分自身が、その動物になりきるのだ。変装したりするのではない。

自分自身の「気」を、鹿なら鹿、象なら象の「気」と同調させるのだ。

「気」を同調させれば、動物たちは決して異種の動物を怖れたり警戒したりはしない。捕食関係にあるはずのライオンと鹿やシマウマと一緒に並んで水を飲んでいる風景は、アフリカではごく普通に見られる。彼らは、外見の姿形から敵味方を見分けているのではない。その動物がかもし出す「気」配によって、今、相手が心を許せる状態かどうかを見分けているのだ。

ブッシュマンの狩人たちは、その「気」を同調させる㉪タクバツした術を㉫知っていたからこそ、警戒されずに動物に近づくことができたのだ。道具としての弓を進歩させる代わりに、

自分たちの“氣”を自在に操り、いつでも象や鹿たちと同調できる能力を高めていたのだ。彼らが折々にたき火を囲んで行うトランスダンスやさまざまな儀式は、みなその能力を高めてゆく訓練の場でもあった。彼らは踊りながらしだいに鹿や象、ダチョウなどに変身してゆく。

これらの動物たちはみな、彼らの生命を支えてくれる神聖な動物たちだ。その神聖な動物たちに変身することによって、彼らには、象の悲しみ、鹿の喜び、鳥の笑いが分かるようになってくる。彼らは④“文明人”である我々のように動物たちを単なる食料とは思っていないし、ましてや、“象牙の材料”などとはまったく思っていない。

自分たちに生命を与えてくれる動物たちを総称して彼らは“雨の動物”と呼ぶ。乾燥した砂漠に住む彼らにとって雨は水はすべての生命の源であり、その雨とこの動物たちは同じ神聖な価値を持つ存在なのだ。

「雨の動物」という呼び名は、英語による苦肉の⑤翻訳なのであって、実は、ブッシュマンの言葉には、“動物”“植物”“人間”といった⑥（⑤）概念によって世界を分類し理解しようとする営みがないのだ。

その代わり“生命を分かち合う者”“生命を脅かす者”という大きな分類があつて、“生命を分かち合う者”の中では、動物も植物も自然現象も区別はないのだ。

因だから彼らは、動物とも、植物とも、そして自然現象とも⑥話が出来る。狩に出て大きな鹿の群れと出会ったとき、今日、どの“個体”が彼らに生命を与えてくれるのかは、鹿のほうから教えてくれる、と彼らは言う。だから決して、今射つてはいけない個体、すなわち妊娠中のメスや子育て中の母、群れに必要なリーダーなどは射たない。彼らは鹿を獲るのではなく、鹿のほうで彼らに生命を分かち与えてくれるのだから。

弱い弓で射られた大きな鹿は、決してその場では倒れない。矢じりの先に①ヌられた昆虫の毒が全身にまわって力尽きるまで何日もかかる。その間、ブッシュマンの狩人たちは根気よく追跡し続ける。姿がまったく見えなくなることもしばしばある。しかし、残された足跡にすべての情報が隠されている。

彼らはその情報を読みとることができる。彼らは残された足跡から、年齢・性別・体重はもちろんのこと、その個体の精神状態まで読みとることができるという。

追跡は、狩人たちにとっても決して生やさしいことではない。時には、家族のいる部落から何百キロも離れることもある。水も食料も持たず、灼熱の太陽の下で、何百キロもの追跡を続けることは、狩人たちにとっても命がけの営みとなる。

この追跡は、“生命を与える者”と“与えられる者”との間で行われる、避けることのできない、苛酷で神聖な儀式である。この儀式の間中、“生命を与える者”と“与えられる者”との間には、絶え間ない“氣”の交信がなされるのだろう。そして、“与える者”が“与えること”を心から受け入れた時、この儀式は終わる。

だから、ブッシュマンの人々は、倒された鹿の肉体を①イッペンたりとも無駄にはしない。肉は食べ物になり、皮は衣服、骨は矢じりや針、スジは糸になり、もう一度、別の生命を生きるのだ。ブッシュマンの人々は、倒した鹿の生命が自分の中に生きていることを、体験として知っていた。日常使っている素朴な道具の中に、鹿の魂や樹の精霊が宿っていることを、“氣”の同調や交信を通して知っていたのだ。

“生きる”ことは“生命の移しかえ”である。

すべての生命が、外から生命をもらい、外へ還元してゆく、というつながりの中で輪になって生きている。『道具』を著しく進歩させた人間だけが、そのことを忘れかけている。数万年もの間、道具を進歩（※）ブッシュマンの人々の生き方の中に、自然の調和を取り戻す偉大な叡知が隠されていることに、今我々は気づかなければならない。

（『地球のささやき』^{ガイア} 龍村仁著 角川ソフィア文庫より）

問一 本文中にある四カ所の（※）には、同じ表現が入ります。文章の内容から考えて最も適する表現を、次の中から記号で答えなさい。

- ア させられずにいた
- イ させようとしてきた
- ウ させることに気づかなかった
- エ させる必要がなかった
- オ させてこなかった

問二 本文中にはもともと次の一文があります。

ところが、それがとんでもない誤りであったことにより気づき始めた。

この一文がある部分は、本文中の形式段落図、いずれかの前になります。それがどこに入るか。図、図いずれかの記号で答えなさい。

問三 現代社会の人間について書かれた傍線部①の表現に対し、直接的・具体的に対応している表現で、ブッシュマンの人々のあり方を示している一文をみつけ、その初めの十字で答えなさい。

問四 【②—i】【②—ii】について、それぞれに適切な接続語の組み合わせとして正しいものを次から記号でひとつ選んで答えなさい。

- ア i Ⅱさらに、ii Ⅱだから
- イ i Ⅱしかし、ii Ⅱだから
- ウ i Ⅱしかし、ii Ⅱまた
- エ i Ⅱだから、ii Ⅱつまり
- オ i Ⅱしかし、ii Ⅱさらに

問五 傍線部③「知っていたからこそ」という表現について、品詞に分解した場合、いくつの品詞から成り立っていますか。その数を漢数字で書きなさい。さらに、分解されたとき下から二つめにあたる品詞名を漢字で書きなさい。

問六 傍線部④「『文明人』である我々」のことを、より具体的に表現している部分を本文より抜き出して書きなさい。ただし、解答は十一字以上十五字以内とする。

問七 (⑤) には、『事物または表象の或る側面・性質をぬき離して把握する心的作用。
(広辞苑)』という意味の言葉が入る。その言葉を漢字二字で答えなさい。

問八 傍線部⑥について、ここでの「話ができる」とは、具体的にどのようなことを表すか。
次の中から、適切ではないものを二つ、記号で選び答えなさい。

- ア 気(気配)を交信させあい、動物が心を許せる状態かどうかを知る
イ 動物が命を分かち合えてくれるかどうかの神聖なやりとり(交信)を行う
ウ 神聖な価値をもつ動物を獲るために自然の神に祈りをささげ許しをえる
エ 動物の足跡からさえも、その動物の精神状態まで感じるほどの情報を読みとる
オ トランスダンスにより踊りながら、獲物と決めた動物に近づいていく
カ 倒した動物の生命そのものを、自分の身体や暮らしのなかで生かし続ける

問九 本文章における筆者の主張として最適なものをひとつ記号で選び答えなさい。

- ア 自然がもつ生命のめぐりを無駄にするような人間の生き方は極めて不自然であるということに気づかなければいけない。
イ 人間が本来的にもっているはずの動物や植物そして自然現象と話ができる能力を取り戻すべきである。
ウ 自然との調和を取り戻すために、我々の生活をブッシュマンのスタイルに近づけていくことが大切である。
エ 人間が生命を維持していくことは同時に自然を破壊していくことであると誰もが認識しなければならない。
オ 人間の知恵をさらに発達させるための具体的な方法や道具の開発をブッシュマンに学ばなければならない。

問十 傍線部①②について漢字は読み方をひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

令和五年度 特別奨学生学校推薦型選抜 適性検査

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一

二

三

四

五 数
品詞

六

七

八

九

十			
①	㉔	㉔	㉔
			いで
	㉔	㉔	㉔
			んで
	㉔	㉔	㉔
			んで

得 点

日本語【解答用紙】

受験番号
氏 名

一
オ
10

二
B
8

三
道
具
と
し
て
の
弓
を
進
歩
10

四
イ
10

五
数
六
品詞
助詞
完 8

六
西
洋
文
明
に
代
表
さ
れ
る
人
々
10

七
抽
象
6

八
ウ
オ
各 4

九
ア
10

十			
①	㉔	㉔	㉔
一 片	卓 抜	い っ し	削 い で
	㉔	㉔	㉔
	ほ ん や く	糧	編 ん で
	㉔	㉔	㉔
		威 力	さ げ す ん で
	塗 ら れ		各 2

得 点

II.【特別奨学生学校推薦型・一般・社会人】

小論文問題①(食物栄養学科)

令和 7 年度 食物栄養学科 小論文問題

1. 特別奨学生学校推薦型選抜

「健康日本 21（第三次）」の目標値として、1 日の野菜摂取量の平均値を 350 g としている。

次の図は、厚生労働省「令和 4 年国民健康・栄養調査」結果の概要より、野菜摂取量の状況について示している。以下の設問に答えよ。

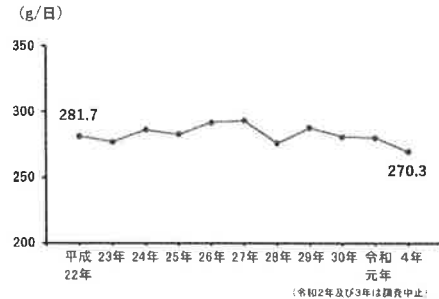


図 1 野菜摂取量の平均値の年次推移 (20 歳以上、総数)

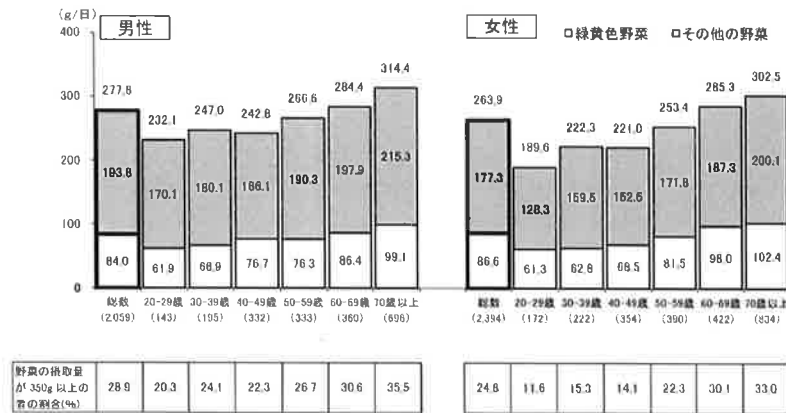


図 2 野菜摂取量の平均値 (令和 4 年、20 歳以上、性・年齢階級別)

設問 1

図 1 より、野菜摂取量の平均値は、令和 4 年では平成 22 年に比較して何%減少したか。ただし、値は四捨五入し整数で答えること。

設問 2

図 2 より、野菜摂取量の状況について説明し、野菜摂取量を増加させる具体的な対策について、あなたの考えを述べよ。(800 字以内、横書きとする)

(出典) 厚生労働省「令和 4 年国民健康・栄養調査」より一部改変

2. 一般選抜 I 期

厚生労働省は、産学官等連携による食環境づくりの推進体制として、「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」を 2022 年 3 月に立ち上げた。栄養課題や環境課題を重大な社会課題として捉え、誰もが自然に健康になれる食環境づくりを展開するものである。その中で、日本人の食事における最大の栄養課題として「食塩の過剰摂取」が示されており、日本人の食塩摂取量の平均値を下の図に示す。

以下の問いに答えなさい。

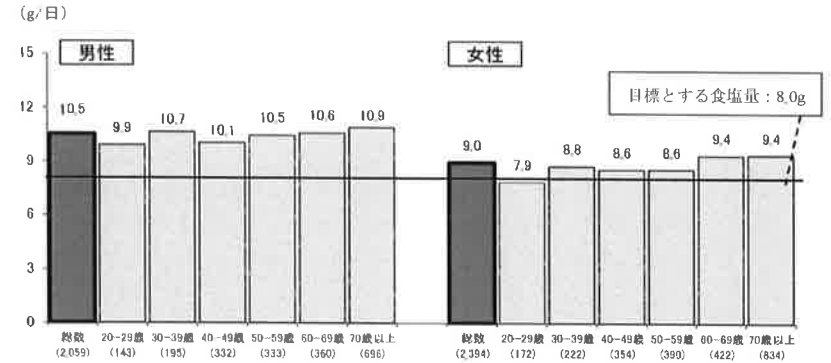


図 我が国の食塩摂取量の平均値 (20 歳以上、性・年齢階級別)

(出典) 厚生労働省「令和 4 年国民健康・栄養調査」より一部改変

設問 1

男性総数の食塩摂取量の平均値は、目標とする食塩摂取量に比べて何倍か。ただし、値は四捨五入し小数第 1 位で求めよ。

設問 2

図より、男女とも 20 歳以上の全ての年齢階級で目標には達していない状況であり、全世代が取り組むべき課題であることがわかる。食塩を摂りすぎない工夫を具体的に示すとともに、誰もが健康になれる食環境づくりのためにどのようなことが考えられるか。あなたの考えを述べよ。

(800 字以内横書きとする)

3. 一般選抜Ⅰ期

「フレイル」とは、「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語であり、「要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。」と定義されている。

厚生労働省の高齢者のフレイル予防事業では、「フレイル」予防のために栄養、身体活動、社会活動についてポイントが示されている。このうち栄養について、年齢や活動量に応じた毎日の食事で必要なたんぱく質摂取の目標量を表1に示した。また、たんぱく質を含む食品例を表2に示した。表3は、Aさん(67歳、男性、活動量：普通)の1日の食事記録である。次の問いに答えなさい。

設問1

Aさんのたんぱく質摂取量を計算しなさい。ただし、値は整数で答えること。

設問2

計算結果よりAさんのたんぱく質摂取量は目標値に足りているか否か判定し解答用紙に○をつけ、Aさんがフレイルを予防するための食生活の改善点を具体的に提案しなさい。

(800字以内、横書きとする)

表1 年齢や活動量(普通)に応じた毎日の食事で必要なたんぱく質摂取の目標量

年齢	性別	たんぱく質摂取の目標量(g)
65～74歳	男性	90～120
	女性	69～93
75歳以上	男性	79～105
	女性	62～83

表2 たんぱく質を含む食品例

食品	たんぱく質(g)	食品	たんぱく質(g)
トースト 1枚	5.6	納豆	8.0
ごはん(普通盛り)	3.8	えだまめ	2.0
ハム 1切れ	2.0	牛乳 200mL	6.6
卵 1個	7.4	プロセスチーズ 15g	3.5
とうふ 1/4丁	5.3	ヨーグルト 1カップ	3.0

表3 Aさんの1日の食事記録

	食事内容	たんぱく質摂取(g)
朝食	トースト・目玉焼き・野菜サラダ	13.0
昼食	ごはん・ハンバーグ・酢の物・くだもの	24.0
夕食	ごはん・焼き鮭・温野菜サラダ・みそ汁	22.0
間食	ようかん・お茶	1.0

【出典】厚生労働省 食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業
パンフレット「食べて元気にフレイル予防」より一部改変

令和6年度 食物栄養学科 小論文問題

1. 特別奨学生学校推薦型選抜

高血圧症は、通常の血圧より高い状態が慢性的に続く症状を指し、日本人にとって最大の生活習慣病リスク要因の一つとされている。高血圧症は、食塩のとりすぎが最も大きな要因とされるが、運動不足や飲酒もその要因と見なされている。表1は、2019年における20歳以上の日本人の1日の食塩摂取量と食習慣改善の意思についてのアンケート結果である¹⁾。表1の内容を把握した上で、以下の設問に答えよ。

表1 1日の食塩摂取量と食習慣改善の意思

	男性		女性	
	8g/日未満 (545人)	8g/日以上 (1716人)	8g/日未満 (1006人)	8g/日以上 (1572人)
改善することに関心がない	19.3	15.4	12.5	8.90
関心はあるが改善するつもりはない	25.5	24.5	23.4	25.6
改善するつもりである(概ね6ヶ月以内)	10.8	13.6	15.5	13.9
近いうちに(概ね1ヶ月以内)改善するつもりである	4.20	3.80	5.00	4.70
既に改善に取り組んでいる(6ヶ月未満)	6.60	5.40	9.10	7.50
既に改善に取り組んでいる(6ヶ月以上)	15.6	14.9	15.0	17.0
食習慣に問題はないため改善する必要はない	18.0	22.4	19.5	22.4

表中の数値の単位はパーセント

設問1

塩化ナトリウムの化学式を答えよ。

設問2

1日の塩分摂取量が8g未満の女性のうち、「近いうちに(概ね1ヶ月以内)改善するつもりである」と回答したのは何人になるか答えよ。ただし、値は小数第一位を四捨五入して整数で答えること。

設問3

表1から読み取れる内容について表中の数値を適宜用いながら説明し、食塩摂取量の低減に向けて取るべき対策についてあなたの考えを述べよ。

(800字以内、横書きとする)

出典

1) 厚生労働省 「国民健康・栄養調査(令和元年)」より一部改変作成

2. 一般選抜Ⅱ期

SDGsは、「持続可能な開発目標」の略称¹⁾で17の目標があり、その中の1つが「飢餓をゼロにすること」である。

日本の食料自給率はカロリーベースで38%であり²⁾、食料を海外からの輸入に頼っている。一方で、農林水産省より公表された「食品ロス量(令和3年度推計値)」では食べ残しや賞味期限切れなど、まだ食べられるはずの食料が年間523万トンも捨てられており、そのうちの244万トンは家庭から出ている³⁾。

図は「家庭系食品ロス量の削減目標と推移」である。わが国では、2000年度(433万トン)比で、2030年度までに半減させることを目標としている。

設問1 「食品ロス量(令和3年度推計値)」より、家庭からの食品ロス量は、年間の何%か。

ただし、値は小数第一位を四捨五入して整数で答えること。

設問2 図から家庭系食品ロス量の傾向を読み取り説明せよ。また、食品ロス量を削減するためにどのようなことができるか、具体例を示しあなたの考えを述べよ。

(800字以内、横書きとする)

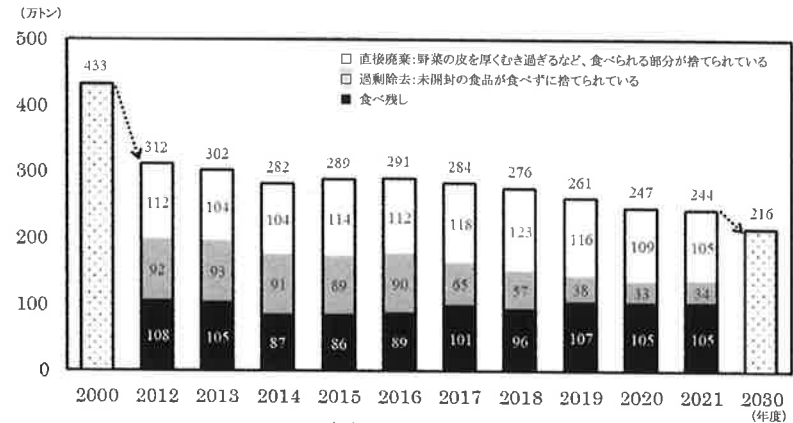


図 家庭系食品ロス量の削減目標と推移

「我が国の食品ロスの発生量の推移」(環境省)、環境再生・資源循環局 資料より作成

1) Sustainable Development Goals

2) 農林水産省の食料需供表 2022

3) 農林水産省「食品ロス量」2023

1. 特別奨学生学校推薦型選抜

食文化には、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法などが含まれる。以下に示した図1から図4は、農林水産省による食育に関する意識調査報告書（令和4年3月）から食文化の継承に関する調査結果の一部を抜粋したものである。図1は、「郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの作法（以降、「食文化」と記述する）を受け継ぐことは大切だと思うか」という設問に対する集計結果である。図2は、「食文化を受け継いでいるか」という問いに対する集計結果である。図3は、図2での調査において「受け継いでいる」と回答した者に対して行われた調査であり、「食文化を地域や次世代にも伝えていくか」という問いに対する集計結果である。さらに、図4は、図3と同じ設問を日本国民全体（図1と同じ母集団）で実施した場合の結果となっている。

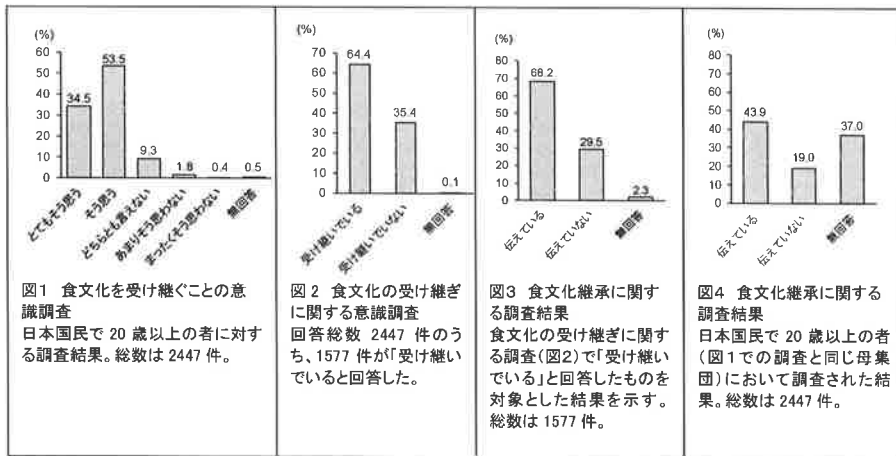
設問1

図3及び図4での「伝えている」及び「伝えていない」と回答した者は何人になるか計算し、解答欄に答えを記入せよ。ただし、少数第一位を四捨五入して整数とした値で解答すること。

設問2

図1から図4のデータを基に、現在の日本の食文化の継承に関する食育状況について説明せよ。また、食文化を受け継ぐためには、どのような必要があると考えられるか、あなたの考えを述べよ。論述の際に必要な場合は、各データの人数を算出した値を用いてもよい。

（800字以内、横書きとします）



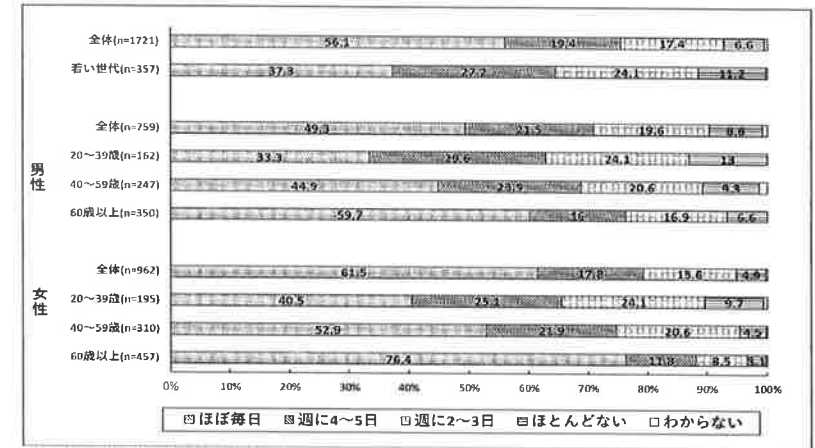
【出典】

- 1) 農林水産省、食育に関する意識調査報告書（HTML版）（令和4年3月）。
https://www.maff.go.jp/syokuiku/ishiki/r04/pdf_index.html

2. 一般選抜Ⅰ期

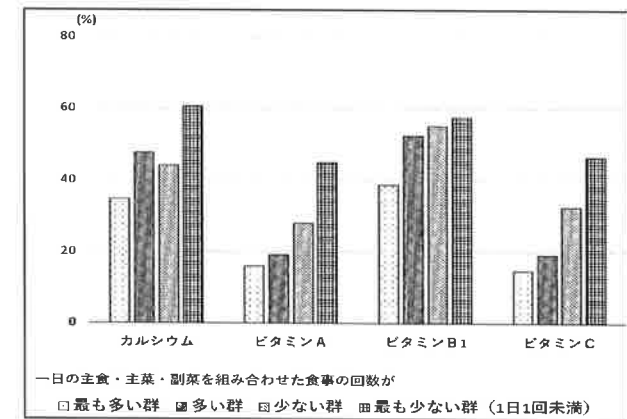
食育に関する調査について、資料1は「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度」について性・年代別に割合を示したものである。資料2は「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事回数」について、それぞれの群で栄養素不足の人の割合を示す。資料1と2よりデータを読み取り、若い世代（20歳代及び30歳代）の食生活における現状とその課題について述べるとともに、課題解決に必要なとされる食の指導について具体的な提案を記述してください。（800字以内、横書きとします。）

資料1 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度（性・年代別）



出典：「令和元年度食育推進施策（食育白書）」農林水産省

資料2 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事回数と栄養素不足の人の割合との関係



出典：「食育の推進に役立つエビデンス（根拠）(3)栄養バランスに配慮した食生活にはどんないいことがあるの？」農林水産省

3. 一般選抜Ⅱ期

わが国の国民健康づくり対策として、2013年度に開始された「健康日本21（第二次）」では、合計53項目の目標が設定された。この中の「次世代の健康」では、妊婦や子どもの健康増進が重要であるとし、子どもの頃からの健全な生活習慣の獲得及び適正体重の子どもの増加が目標として設定された。図1は、上記「健康日本21（第二次）」の最終報告でまとめられた「小学5年生の肥満傾向児の割合の10年間の推移」である。策定時から肥満傾向にある子どもの割合が増加したことが示されている。ただし、令和2年の割合は、コロナ禍の影響が現れているものとする。また、世界保健機関（WHO）の「Global Recommendations on Physical Activity for Health」（2010年）では、健康づくりのための身体活動の推奨レベルとして、「5歳～17歳に分類される子ども・未成年者は、1日当たり60分の中～高強度の身体活動を毎日行うこと」としている。これを踏まえて、図2の「小学5年生の運動時間別児童生徒割合」及び社会的背景から、肥満傾向にある子どもの割合が策定時よりも増加した理由にはどのようなことが考えられるか、具体的な改善策を示すとともにあなたの考えを述べなさい。（800字以内、横書きとする。）

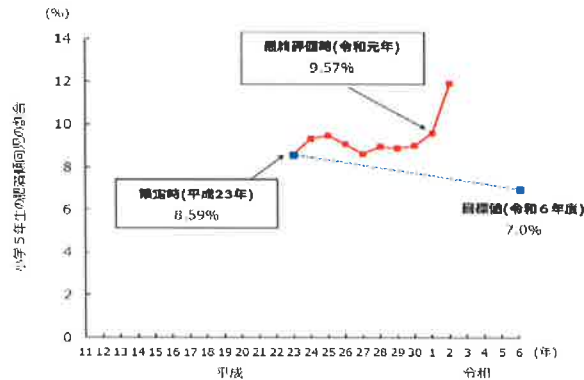


図1 小学5年生の肥満傾向児の割合の推移

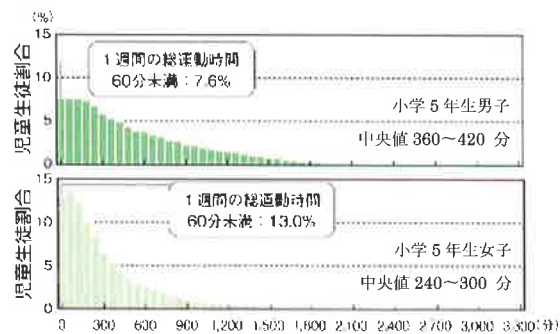


図2 運動時間別児童生徒割合 令和元年

【出典】厚生労働省、「健康日本21（第二次）」最終評価報告について

4. 社会人選抜Ⅰ期

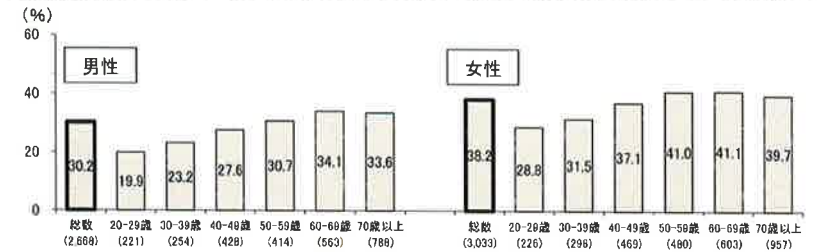
「国民健康栄養調査」は、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、「健康増進法」に基づき実施される。

令和元年度の調査結果より、資料1は「健康食品の摂取状況」、資料2は「健康食品を摂取している目的」の調査結果である。

資料1と2をふまえて、健康食品の摂取についてあなたの考えを述べよ。（800字以内、横書きとします。）

資料1 健康食品の摂取状況（年齢階級別、人数、割合、性、20歳以上）

問 あなたは、サプリメントのような健康食品（健康の維持・増進に役立つといわれる成分を含む、錠剤、カプセル、粉末状、液状などに加工された食品）を食べたり、飲んだりしていますか。



資料2 健康食品を摂取している目的（年齢階級別、人数、割合、性、20歳以上）

問 健康食品を利用する目的は何ですか。

		総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性	総数	805	-	44	-	59	-	118	-	127	-	192	-	265	-
	健康の保持・増進	582	72.3	19	43.2	37	62.7	70	59.3	84	74.0	155	80.7	207	78.1
	たんぱく質の補充	84	10.4	22	50.0	10	16.9	18	15.3	11	8.7	10	5.2	13	4.9
	ビタミンの補充	243	30.2	18	43.2	30	50.8	42	35.6	33	28.0	52	27.1	67	25.3
	ミネラルの補充	87	10.8	7	15.9	7	11.9	19	16.1	10	7.9	21	10.9	23	8.7
	その他	123	15.3	7	15.9	7	11.9	19	16.1	18	14.2	28	14.6	44	16.6
女性	総数	1,158	-	65	-	94	-	174	-	197	-	248	-	380	-
	健康の保持・増進	818	70.8	25	38.5	55	58.6	114	65.5	140	71.1	184	74.2	300	78.9
	たんぱく質の補充	109	9.4	11	16.9	6	6.4	15	8.6	17	8.6	29	11.7	31	8.2
	ビタミンの補充	374	32.3	45	68.2	34	36.2	74	42.5	61	31.0	66	26.6	94	24.7
	ミネラルの補充	128	11.1	10	15.4	12	12.8	21	12.1	20	10.2	28	11.3	37	9.7
	その他	192	16.6	8	12.3	23	24.5	34	19.5	35	18.3	41	16.5	50	13.2

※複数回答のため、内訳合計が100%にならない。

※網掛けは、各年代で最も高い項目。

出典：「国民健康栄養調査令和元年」厚生労働省

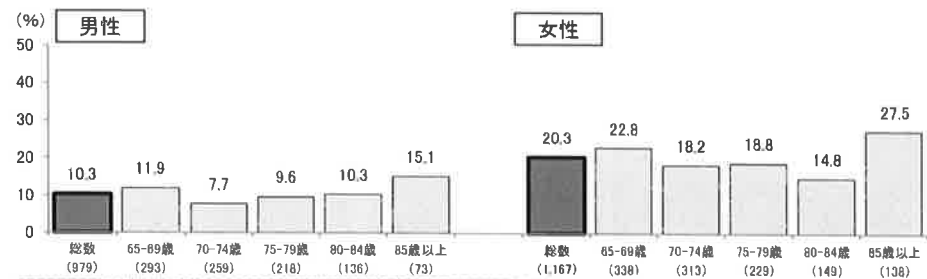
5. 社会人選抜Ⅱ期

エネルギーとたんぱく質が欠乏し、健康な体を維持するために必要な栄養素が足りない状態を「低栄養」という。高齢者は、咀嚼や嚥下機能の低下により食物を摂食し難くなり、低栄養に注意が必要である。

資料1に、65歳以上における低栄養傾向の割合（厚生労働省、2019年国民健康栄養調査）を、資料2に日本人の主な死因の構成割合（厚生労働省、2019年人口動態統計）を示す。

高齢者への栄養相談を想定し、あなたが栄養士になったら、健康の保持・増進のために食生活についてどのような提案ができるか。あなたの考えをまとめなさい。（800字以内、横書きとする。）

資料1 低栄養傾向の者（BMI¹⁾ ≤ 20 kg/m²）の割合（65歳以上、性・年齢階級別）



（参考）低栄養傾向の者（BMI ≤ 20 kg/m²）について
「健康日本21（第二次）」では、「やせあるいは低栄養状態にある高齢者」ではなく、より緩やかな基準を用いて「低栄養傾向にある高齢者」の割合を減少させることを重視している。その際、「低栄養傾向」の基準として、要介護や死亡リスクが統計学的に有意に高くなるポイントとして示されている BMI20 以下を指標として設定している。

¹⁾ BMI：Body Mass Index，体格指数。体重(kg)÷身長(m)²で求められ、やせ・肥満の判定に用いられる。

資料2 性・年齢階級別にみた主な死因の死亡割合（％）

《男》									
年齢	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老 衰	自殺	その他
65-69	100.0	44.3	13.2	6.7	3.2	3.1	0.2	1.7	27.5
70-74	100.0	44.1	12.6	6.8	4.4	2.9	0.6	1.2	27.3
75-79	100.0	38.9	12.5	7.3	6.2	2.9	1.4	0.8	30.0
80-84	100.0	31.6	13.4	7.9	8.2	3.0	3.3	0.5	32.1
85-89	100.0	24.6	14.4	7.6	10.5	3.0	6.4	0.3	33.1
90-94	100.0	18.2	15.8	7.0	12.3	2.7	11.7	0.2	31.9
95-99	100.0	12.4	17.0	6.2	13.1	2.3	19.2	0.1	29.6
100以上	100.0	7.5	16.0	4.9	13.1	2.4	32.4	0.0	23.7

《女》									
年齢	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老 衰	自殺	その他
65-69	100.0	52.7	9.6	6.1	2.3	2.6	0.3	1.9	24.5
70-74	100.0	46.3	11.4	6.9	2.8	2.9	0.9	1.4	27.5
75-79	100.0	37.0	13.5	7.9	4.3	3.4	2.3	0.8	30.8
80-84	100.0	27.7	16.0	8.7	5.7	3.0	6.0	0.4	32.5
85-89	100.0	19.3	17.9	9.1	7.2	2.5	11.5	0.2	32.4
90-94	100.0	13.0	19.1	8.6	8.1	2.1	19.1	0.1	30.0
95-99	100.0	8.0	18.9	7.9	8.3	1.8	28.3	0.0	26.9
100以上	100.0	3.9	16.3	6.3	7.6	1.5	42.5	0.0	21.9

Ⅱ.【特別奨学生学校推薦型・一般・社会人】

小論文問題②(保育学科)

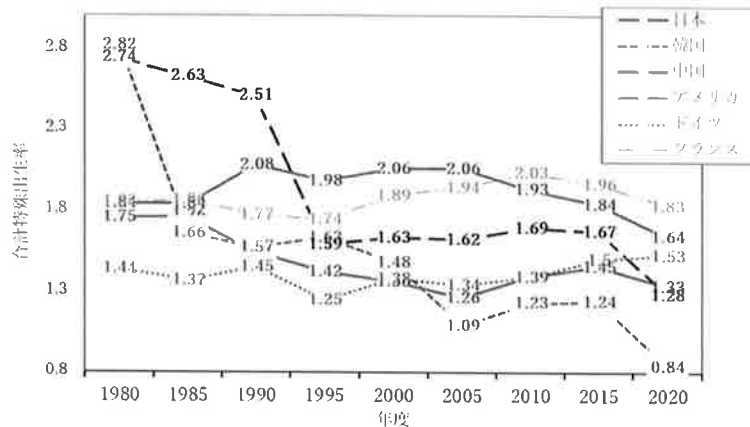
令和7年度 保育学科 特別奨学生学校推薦型選抜 小論文問題

設問

日本の少子化の現状について、資料1および資料2から読み取れることを記述すると共に、あなたが保育者となった場合に、どのような点で少子化への対策に貢献できるのか、あなたの意見を述べなさい。

(800字以内、横書きとする)

資料1 各国の合計特殊出生率*の推移



Fertility rate, total (births per woman), Data Indicators, World Bank より作成

*合計特殊出生率：15-49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの（厚生労働省）

資料2 「直系家族」としての少子化

今回の新型コロナウイルスのパンデミックは、世界各国の現状を浮き彫りにしましたが、大きな歴史の流れに何か新しい変化を加えたわけではない、と私は見ています。世界各国の「死者数」は膨大ですが、その大部分は高齢者です。現役世代の死者はわずかで、コロナ以前に想定されていた高齢者の寿命を縮めたにすぎず、人口動態全体に与えるインパクトは大きくありません。むしろ「出生数の減少」と「自粛生活が全世代の平均寿命にもたらす悪影響」の方が今後、明らかになってくるでしょう。要するに、「高齢者」の「健康」を守るために、「若者」と「現役世代」の「生活」に犠牲を強いたわけで、その傾向は、例えば「老人支配」の度合いの弱い英米よりも、日本のような「老人支配」の度合いの強い国ほど顕著です。日本は「コロナによる死亡率」を最小限に抑えましたが、社会が存続する上で「高齢者の死亡率」よりも重要なのは「出生率」であることを忘れてはいけません。

「絶対核家族（親の遺言で相続者を指名）」の英米や「平等主義核家族（平等に分割相続）」のフランスよりも、日本で老人が敬われるのは、「直系家族（長子相続）」という日本の家族構造が関係しています。「家族」を重視することで、日本の優れた社会の基礎が築かれてきたわけですが、例えば、子育てのすべてを「家族」で賄うことなど、もはやできません。老人介護も同様です。「家族」の過剰な重視が「家族」を殺す——「家族」にすべてを負担させようとする、現在の日本の「非婚化」や「少子化」が示しているように、かえって「家族」を消滅させてしまうのです。「家族」を救うためにも、公的扶助によって「家族」の負担を軽減する必要があります。

エマニエル・トッド『老人支配国家 日本の危機』（文春文庫、2021年）pp.14-15 より一部改変

令和7年度 保育学科 一般選抜Ⅰ期 小論文

設問

近年、保育所や認定こども園等では、身近な大人や他の子どもたちとの関わりの中で食事をおいしく楽しく食べることを通じて「食育」を育むことが期待されています。

以下の事例を読み、あなたならどのように子どもの気持ちを受け止めた関わりをしますか。また、A児の行動を望ましい行動に導くためには、保育者としてあなたならどのような言葉がけや援助をしたらよいと思いますか。あなたの考えを述べなさい。

(800字以内、横書きとする)

「ちゃんと座って食べなさい！」

午前中、リレーで負けて悔しがっていた4歳のA児。給食の時間もまだ、ブルーな気持ちを引きずっていた。特に、今日は苦手な豆ごはん。豆だけよけようと思ったが、ごはんにも豆の香りがついていて、箸が進まない。おかずは食べたけれど、ごはんはそのまま。食べ終わった友だちは、「ごちそうさま」をして、次々に遊びに行ってしまった。ごはんは、だんだんコペコペになってきた。A児は、ますますブルーになって、床に寝転び始めた。先生はその姿を見て、「ちゃんと座って食べなさい！全部食べないと遊びにいかせんよ！」と厳しい口調で言った。A児は、床の上で「うわー」と泣きだしてしまった。

コペコペ：時間がたち乾燥してかたくなった状態のこと

京都府保育士会「みんなで考えたい保育事例ハートファイル」

～児童虐待・不適切な対応について自身を振り返るために～令和2年10月27日

一部改変

令和 6 年度 保育学科 小論文問題

特別奨学生 学校推薦型選抜

設問

資料 1 は、内閣府「令和 4 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」の一部である。この資料から読み取れることを述べるとともに、低年齢層の子供が情報機器やインターネットを利用することについてあなたの意見を述べなさい。

(800 字以内、横書きとする)

資料 1 子供のインターネットの利用内容（年齢別）

	アンケートの回答者数（人）	人	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	撮影や制作、記録をする（動画撮影や音楽制作、編集を含む）	その他
		人	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
【総数】	2086	1554	74.4	12.2	4.7	24.5	5.8	27.2	93.4	2.4	1.5	60.6	0.6	36.6	17.1	8		
（子供の年齢別）																		
0 歳	107	14	13.1	-	-	-	-	35.7	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 歳	133	38	28.6	2.6	7.9	-	-	39.5	100	-	-	2.6	-	2.6	2.6	5.3		
2 歳	168	105	62.5	1	-	1	1	12.4	96.2	-	-	17.1	-	1	1.9	3.8		
3 歳	163	100	61.3	3	1	2	1	25	95	-	-	32	-	5	7	4		
4 歳	196	144	73.5	3.5	2.1	2.1	1.4	28.5	98.6	1.4	0.7	47.2	-	14.6	11.1	4.2		
5 歳	229	177	77.3	1.7	1.7	7.3	2.3	27.1	97.2	2.3	-	55.9	1.1	15.3	6.8	4.5		
6 歳	240	196	81.7	5.6	2.6	12.2	3.6	21.4	93.4	2	1	68.4	1.5	30.1	15.8	7.7		
7 歳	259	235	90.7	14	5.5	30.6	10.6	23	93.2	4.7	1.3	72.3	-	51.9	23.8	14.9		
8 歳	276	254	92	21.7	5.5	37.4	7.1	31.1	88.2	2.4	2	76	0.4	61	21.7	9.8		
9 歳	317	291	91.8	26.5	10.7	58.4	11	34.4	90.4	3.4	4.5	77.7	1	61.2	29.2	8.6		

※アンケートの回答は子供の保護者が行ったものである。

※インターネットの利用内容の割合は、子供がインターネットを「使っている」と回答した人の中で、子供がインターネットを使って何をしているか、当てはまる項目を全て選択し回答した割合である。

内閣府「令和 4 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書（HTML 版）」（2023）
「第 2 部 調査結果 第 3 章 低年齢層の子供の保護者調査の結果」より一部改変作成

令和 6 年度 保育学科

一般選抜 I 期 小論文問題

設問

以下の事例を読み、幼児期の遊びについてあなたの考え（経験も含む）を述べなさい。
事例からは同年齢のクラスの子どもでも、また同じ活動に取り組んでいる仲間だとしても、一人一人目的が異なり発達の状態により、興味や欲求が異なることもわかります。そのようなとき、保育者としてあなたならどのような言葉がけや援助をしたらよいと思いますか。

(800 字以内、横書きとする)

3 歳児クラスの男児数名の間で、チラシを使った剣づくりが流行っています。チラシを丸めて長く硬い剣を作りたいのですが、3 歳だとなかなかうまく作ることができません。片手でチラシを押さえながらもう片方の手で巻いていくという、左右の手の協応動作が難しいからです。

そんな中、カイトくんは比較的上手に剣を作っていて、出来上がった剣をいくつも自分のロッカーにしまっています。一方、早生まれのケイくんはまだ両手をうまく使えず、剣づくりも思うようにいかないようです。担任保育者に「手伝ってー」とお願いして作ってもらった丈夫な剣を大事にしていますが、もっとたくさん欲しいという気持ちも伝わってきます。担任保育者は「ケイくんも自分で作ってみる？」と促しますが、一人ではきれいに巻けないことがわかっているケイくんはなかなか取り組もうとしません。自分でたくさん剣を作って取っておきたいカイトくん、先生に硬い剣を作ってもらいたいケイくん。剣づくりの中でも、やりたいことはそれぞれ異なるようです。

請川滋大『子ども理解 ― 個と集団の育ちを支える理論と方法』（萌文書林、2020 年）pp.13-14 より抜粋

令和 5 年度 保育学科 小論文問題

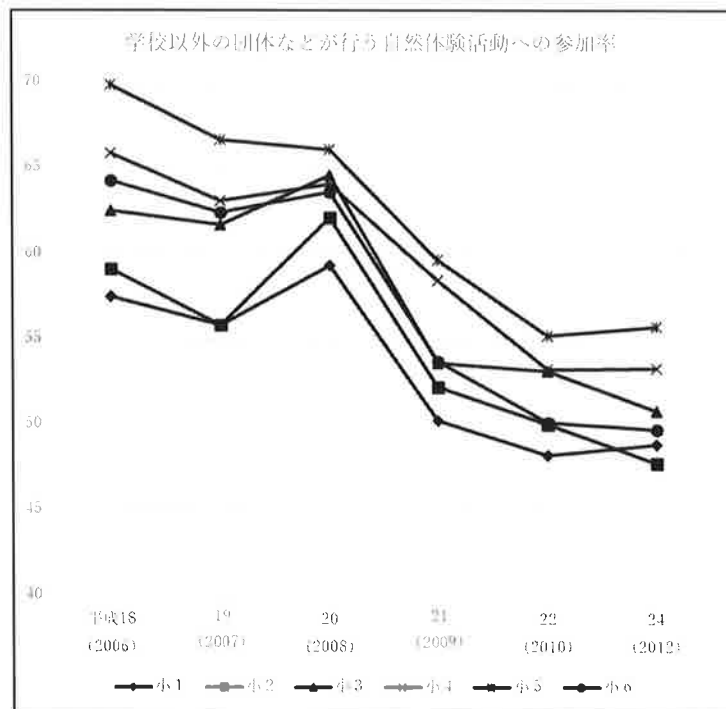
特別奨学生学校推薦型選抜

設問

資料 1 は、国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査（平成 24 年度調査）」報告書（平成 26 年 3 月）の学校以外の団体が行う自然体験活動への参加率を示したグラフである。このグラフから読み取れることを述べるとともに、それを踏まえて幼児期に必要な活動や経験について、あなたの意見を述べなさい。

（800 字以内、横書きとする）

資料 1 学校以外の団体などが行う自然体験活動への参加率



※平成 23 年度は、調査を実施していない。

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査（平成 24 年度調査）」（2014）
図 198 「4 月から調査時期までの自然体験活動への参加率」（p. 92）より作成

令和 5 年度 保育学科 小論文問題

一般選抜 I 期

設問

以下の事例を読み、約一ヶ月にわたる砂場遊びから、A 児のどのような成長が見て取れるか、また、担任のどのような言動が子どもの成長を促していったかを読み取り、記述しなさい。

（800 字以内、横書きとする）

砂場で作ったソフトクリーム（幼稚園4歳児 5月～6月）

新年度になって一ヶ月あまり。徐々に新しい状況に順応してきたこの時期は、子どもたちが自分の思いをしっかりと出し、したい遊びに思い切り取り組んでほしい時期である。ゆったりとした時間を確保するとともに、安心してのびのびと遊ぶことができる場の確保や、共感的な保育者の姿勢が大切となる。これは、生活の中でよく見られるような砂場での遊びにじっくりと取り組むA児の姿と、それに寄り添う保育者の事例である。

5月22日

A児がバケツに水をいれ、そこに砂を大量に入れ始めた。はじめは砂が水に沈んでいったが、いっぱいになるとバケツには砂しか残らない状態になった。最初A児は、「砂が勝った!」と叫んだが、手で触れたところから水がしみ出てくる。A児は、「わあっ、また出てきた。水はどこにいたんだろう?」と不思議に思いながらも楽しそうである。その後、プリンの空き容器で型抜きしたり、手で直接感触を確かめながら砂遊びを楽しんでいた。

6月7日

砂場で遊んでいたA児が砂団子を作って見せてくれる。「見て、見て!」とA児。「Aくん、固いお団子ができたね」「でもね、お水に入れたらなくなるんだよ」「そうなんだ。また作りたくなったらどうするの?」と保育者。「砂をいっぱい入れればいいんだよ」「そうなの、よく知っていたね。誰か教えてくれたの?」と言うと、「ううん、自分でわかったの」とA児。

6月20日

同僚の先生から、A児が面白い遊びをしていると聞いた担任はすぐに砂場へ行って、声を掛けてみた。「Aくんがおいしそうなソフトクリームを作ってくれるって聞いたんだけど…」と言うと、A児はにっこり笑って、「ちょっと待っててね」と、すぐにじょうご*を持ってきた。砂の中にじょうごを立て、その中に砂をすくって入れ始める。次に適当に(本人はきちんと考えて入れたらしいが…)水を加えてから、じょうごの口を砂から抜き、保育者の手の平にゆっくりと円を描きながら盛り上げ、砂のソフトクリームを作り始めた。「Aくん、すごいね!」と言うと、「ほんとに? すごい?」と少しはにかみながらも喜んでいる。さらに保育者が、「Aくん、ほんとにすごいよ。誰が考えたの?」と尋ねると、「自分で!」と自信満々に答えた。

*じょうご: 液体を移し替えるときに用いる、上部が広く、出口が細くすばまった器具

大野鈴子「総合的に子どもの発達を促す保育内容の展開」（環太平洋大学研究紀要、2012）

pp.11-12より一部改変

III.【一般】

数学

令和7年度 一般選抜Ⅰ期 数学

問題・解答用紙

受験番号 _____ 氏名 _____

問1 以下の問いに答えよ

(1) $(-3) \times 4 + (-5) \times (-6)$ を計算せよ

答え _____

(2) $\frac{1}{6} + 3 \times 0.3$ を計算せよ

答え _____

(3) 74×86 を計算せよ

答え _____

(4) $(\sqrt{7})^2$ を計算せよ

答え _____

問2 次の方程式を x について解け

(1) $x^2 - 5x = 0$

答え _____

(2) $4x^2 - 81 = 0$

答え _____

(3) $x^2 + 6x + 8 = 0$

答え _____

(4) $\frac{1}{4}x^2 - \frac{3}{4}x + \frac{1}{4} = -\frac{1}{4}$

答え _____

問3 次の一次不等式を解け

(1) $x - 1 > -4$

答え _____

(2) $-4x + 1 > 5(x + 2)$

答え _____

問4 以下の問いに答えよ

辺 AB、辺 AC が 8cm、 $\angle BAC$ が 60° の三角形 ABC がある。

(1) $\angle BAC$ を二等分する線と辺 BC との交点を D とするときの BD の長さを求めよ

答え _____

(2) 三角形 ABC に外接する円の半径を求めよ

答え _____

問5 以下の問いに答えよ

ぶどう 10 粒の重量を測定したところ、それぞれ 5、8、8、6、7、7、6、8、8、8 (単位はグラム) となった。

(1) このときの最頻値を答えよ

答え _____

(2) このときの中央値を求めよ

答え _____

(3) このときの分散を求めよ

答え _____

解答例

問1 計算せよ (各5点)

(1) $(-3) \times 4 + (-5) \times (-6) = -12 + 30 = 18$

答え 18

(2) $1/6 + 3 \times 0.3 = 1/6 + 9/10 = 10/60 + 54/60 = 64/60 = 16/15$

答え 16/15

(3) $74 \times 86 = (80-6)(80+6) = 6400 - 36 = 6364$

答え 6364

(4) $(\sqrt{7})^2 = 7$

答え 7

問2 次の方程式を x について解け。 (各5点)

(1) $x^2 - 5x = 0$

$x(x-5) = 0$

答え $x=0, 5$

(2) $4x^2 + 81 = 0$

$(2x+9)(2x-9) = 0$

答え $x = \pm 9/2$

(3) $x^2 + 6x + 8 = 0$

$(x+2)(x+4) = 0$

答え $x = -2, -4$

(4) $1/4 x^2 - 3/4 x + 1/4 = -1/4$

$x^2 - 3x + 1 = -1$

$x^2 - 3x + 2 = 0$

$(x-1)(x-2) = 0$

答え $x = 1, 2$

問3 次の一次不等式を解け (各5点)

(1) $x - 1 > -4$

答え $x > -3$

(2) $-4x + 1 > 5(x + 2)$

$\Leftrightarrow -4x + 1 > 5x + 10 \Leftrightarrow -9x > 9 \Leftrightarrow x < -1$

答え $x < -1$

問4 以下の問いに答えよ。 (各10点)

辺 AB、辺 AC が 8cm、 $\angle BAC$ が 60° の三角形 ABC がある。

(1) $\angle BAC$ を二等分する線と辺 BC との交点を D とするときの BD の長さを求めよ。

正解

角の2等分線との交点と頂点の距離なので、

$8/2 = 4$ (cm)

となる

(2) 三角形 ABC に外接する円の半径を求めよ

正解

円の中心を O とする。題意から三角形 ABC は

正三角形であると分かるため、三角形 ABD は、

$\angle BAD = 30^\circ$ 、 $\angle BDA = 90^\circ$ の直角三角形となる。

線分 AD の長さは、三平方の定理から、

$AD = 4\sqrt{3}$ と求まる。

$\angle ABO$ と $\angle OBD$ は等しいため、線分 DO と

線分 OA の比は、線分 BD と線分 BA の比と

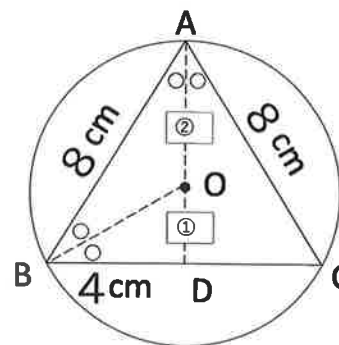
等しくなる。

外接円の半径は線分 AO であるから、求める

半径の長さは、線分 AD の $2/3$ となる。したがって、AO は、

$4\sqrt{3} \times 2/3 = 8\sqrt{3}/3$

と求められる。



問5 以下の問いに答えよ。 (各10点)

ぶどう 10 粒の重量を測定したところ、それぞれ 5、8、8、6、7、7、6、8、8、8 (単位はグラム) となった。

(1) このときの最頻値を答えよ。

最頻値は最も多く出現した数であるので、8

答え 8

(2) このときの中央値を求めよ。

小さいものから順に整列させると、

5、6、6、7、7、8、8、8、8、8

となる。

したがって、中央値は $(7 + 8) / 2 = 7.5$

答え 7.5

(3)このときの分散を求めよ。

まず、平均を求めると

$$(5 + 6 + 6 + 7 + 7 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8) / 10 = 7.1$$

したがって、分散は、

$$\{(5 - 7.1)^2 + 2 \times (6 - 7.1)^2 + 2 \times (7 - 7.1)^2 + 5 \times (8 - 7.1)^2\} / 10 = (4.41 + 2.42 + 0.02 + 4.05) / 10 = 1.09$$

答え 1.09

別冊

**特別奨学生
学校推薦型選抜
小論文**

解説

（食物栄養学科・保育学科）

〈R 5～R 7 年度〉

函館短期大学 入試広報課

〒042-0955 北海道函館市高丘町 52-1

Tel 0120-57-1820

FAX 0138-59-5549

令和 7 年度 食物栄養学科 特別奨学生学校推薦型選抜 小論文問題

「健康日本 21（第三次）」の目標値として、1 日の野菜摂取量の平均値を 350 g としている。

次の図は、厚生労働省「令和 4 年国民健康・栄養調査」結果の概要より、野菜摂取量の状況について示している。以下の設問に答えよ。

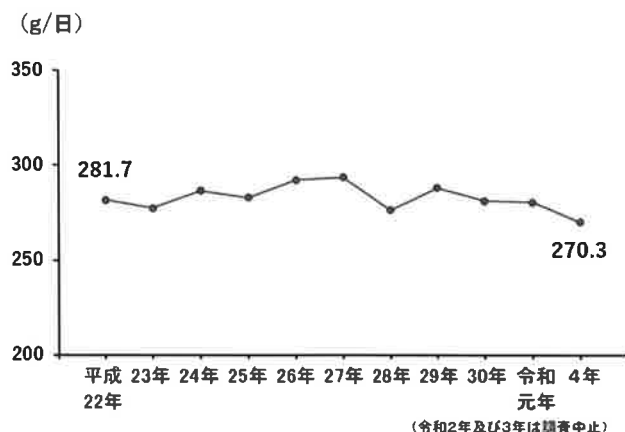


図 1 野菜摂取量の平均値の年次推移 (20 歳以上、総数)

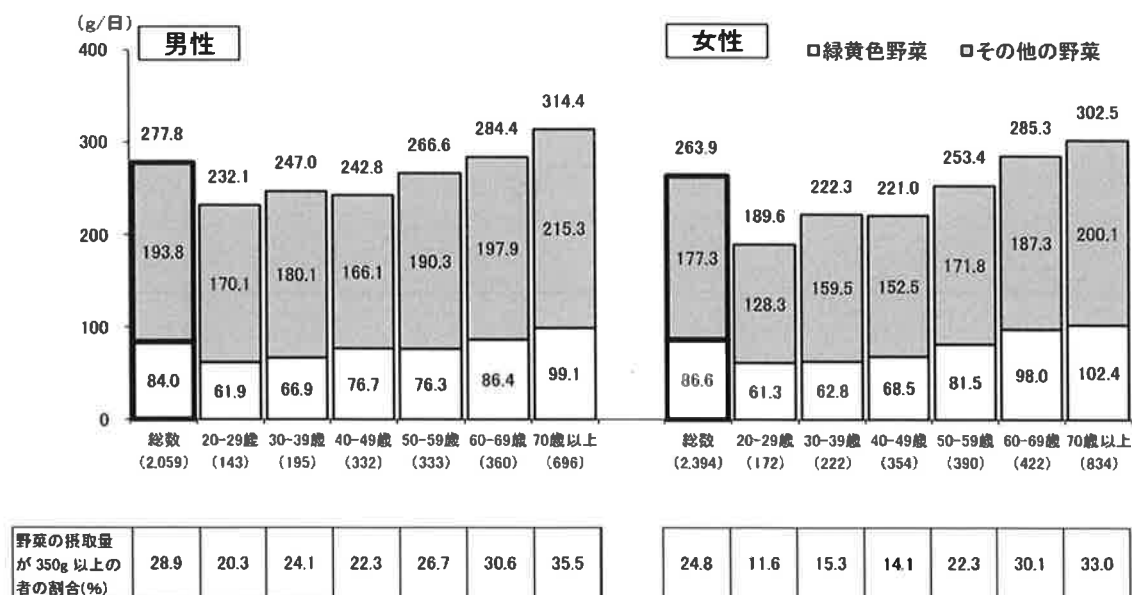


図 2 野菜摂取量の平均値 (令和 4 年、20 歳以上、性・年齢階級別)

設問 1

図 1 より、野菜摂取量の平均値は、令和 4 年では平成 22 年に比較して何%減少したか。ただし、値は四捨五入し整数で答えること。

設問 2

図 2 より、野菜摂取量の状況について説明し、野菜摂取量を増加させる具体的な対策について、あなたの考えを述べよ。
(800 字以内、横書きとする)

(出典) 厚生労働省「令和 4 年国民健康・栄養調査」より一部改変

【出題意図】

令和4年国民健康・栄養調査より、わが国の一人当たりの野菜摂取量は優位に低下していることが報告された。国民健康づくり対策の目標の一つに、野菜摂取量が示されている。

図を読み取り、自身の課題としてとらえるとともに、文章を理解する読解力および知識をみる。本文および資料を読み取り、論理的な思考力・判断力、および自分の意見を論述する表現力をみる。

【採点基準】

- ・ 資料を正しく読み取り表現している。
- ・ 事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・ 自分の考えを主体的・独創的に表現し、かつ多様性の尊重と受容姿勢がある。
- ・ 規定文字数の範囲内である。
- ・ 誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく国語的観点から優れている。
- ・ 出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【解答のポイント】

設問1 答え 4 %

(計算) $(1 - 270.3/281.7) \times 100 = 4.046\ldots$

設問2

受験者により、多様な解答があるため解答例は示さないが、概ね次の内容を示していることが望ましい。

- ・ この10年間でみると、男女とも野菜の摂取量は減少している。
- ・ 年齢階級別にみると、男女ともに20歳代で最も少なく、年齢が高い層で多い。
- ・ 男女では、女性の方が摂取量は少ない傾向にある。
- ・ 緑黄色野菜比率は、年齢階級別、男女ともに同様の傾向である。

具体的な対策例

- ・ 毎日の食事にサラダを一皿追加する。
- ・ 野菜を使用した具沢山の汁物を取り入れる。
- ・ 惣菜を購入する場合も、野菜を摂取できる料理を選択する。 等

高血圧症は、通常の血圧より高い状態が慢性的に続く症状を指し、日本人にとって最大の生活習慣病リスク要因の一つとされている。高血圧症は、食塩のとりすぎが最も大きな要因とされるが、運動不足や飲酒もその要因と見なされている。表 1 は、2019 年における 20 歳以上の日本人の 1 日の食塩摂取量と食習慣改善の意思についてのアンケート結果である¹⁾。表 1 の内容を把握した上で、以下の設問に答えよ。

表 1 1 日の食塩摂取量と食習慣改善の意思

	男性		女性	
	8g/日未満 (545人)	8g/日以上 (1716人)	8g/日未満 (1006人)	8g/日以上 (1572人)
改善することに関心がない	19.3	15.4	12.5	8.90
関心はあるが改善するつもりはない	25.5	24.5	23.4	25.6
改善するつもりである(概ね6ヶ月以内)	10.8	13.6	15.5	13.9
近いうちに(概ね1ヶ月以内)改善するつもりである	4.20	3.80	5.00	4.70
既に改善に取り組んでいる(6ヶ月未満)	6.60	5.40	9.10	7.50
既に改善に取り組んでいる(6ヶ月以上)	15.6	14.9	15.0	17.0
食習慣に問題はないため改善する必要はない	18.0	22.4	19.5	22.4

表中の数値の単位はパーセント

設問 1

塩化ナトリウムの化学式を答えよ。

設問 2

1 日の塩分摂取量が 8 g 未満の女性のうち、「近いうちに（概ね 1 ヶ月以内）改善するつもりである」と回答したのは何人になるか答えよ。ただし、値は小数第一位を四捨五入して整数で答えること。

設問 3

表 1 から読み取れる内容について表中の数値を適宜用いながら説明し、食塩摂取量の低減に向けて取るべき対策についてあなたの考えを述べよ。

(800 字以内、横書きとする)

出典

1) 厚生労働省 「国民健康・栄養調査（令和元年）」より一部改変作成

【出題意図】

本文に記載された図と数値情報から、リスク要因と各種疾患の関係性を読み取る論理的な思考力・判断力を見る。さらに、設問に対しての論理的な思考展開に基づく論述、および自分の意見を論述する表現力をみる。

【採点基準】

- ・ 図表を正しく読み取り表現している。
- ・ 事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・ 規定文字数の範囲内である。
- ・ 誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく、国語的観点からも優れている。
- ・ 出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【解答のポイント】

設問1（配点5点） NaCl

設問2（配点5点） $50 \times 1006 \times 0.05 = 50.3$

設問3（配点90点） 受験者により、多様な解答があるため解答例は示さないが、概ね次の内容を示していることが望ましい。

- ・ 性別ごとの比較ができている
 - ・ 意識のある者とそうでないもの
 - ・ 食塩の摂りすぎによる健康被害を理解できていない
- ・ 性別間の比較ができている
- ・ アンケート項目に対して適宜グルーピングなどしつつ論理的に記述されている。
 - ・ 改善することに関心が無いと回答した者への対策など
 - ・ 関心はあるが改善するつもりはないと回答したものへの対策など
 - ・ 食習慣に問題はないため改善する必要はないと回答したものへの対策など
 - ・ 生活習慣での改善策について述べている（問題文をよく読んで理解しているかを見る）

食文化には、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法などが含まれる。以下に示した図 1 から図 4 は、農林水産省による食育に関する意識調査報告書（令和 4 年 3 月）¹⁾ から食文化の継承に関する調査結果の一部を抜粋したものである。図 1 は、「郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの作法（以降、「食文化」と記述する）を受け継ぐことは大切だと思うか」という設問に対する集計結果である。図 2 は、「食文化を受け継いでいるか」という問いに対する集計結果である。図 3 は、図 2 での調査において「受け継いでいる」と回答した者に対して行われた調査であり、「食文化を地域や次世代にも伝えていくか」という問いに対する集計結果である。さらに、図 4 は、図 3 と同じ設問を日本国民全体（図 1 と同じ母集団）で実施した場合の結果となっている。

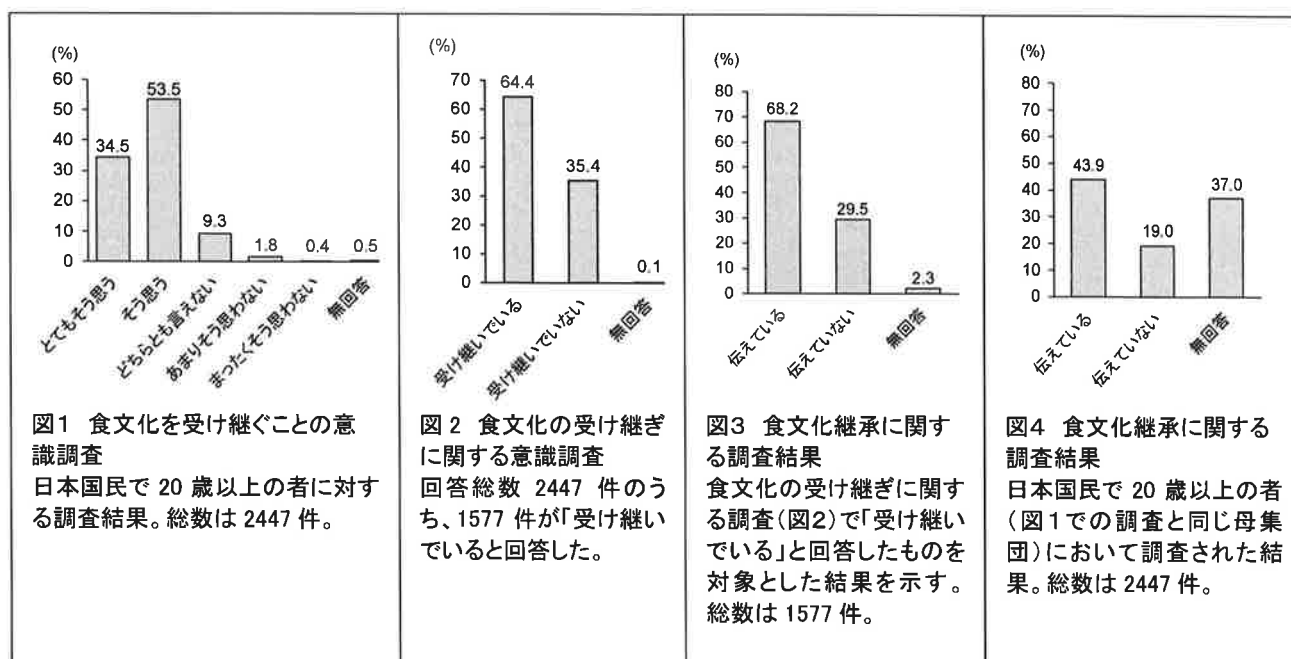
設問 1

図 3 及び図 4 での「伝えていく」と「伝えていない」と回答した者は何人になるか計算し、解答欄に答えを記入せよ。ただし、少数第一位を四捨五入して整数とした値で解答すること。

設問 2

図 1 から図 4 のデータを基に、現在の日本の食文化の継承に関する食育状況について説明せよ。また、食文化を受け継ぐためには、どのような必要があると考えられるか、あなたの考えを述べよ。論述の際に必要な場合は、各データの人数を算出した値を用いてもよい。

（800 字以内、横書きとします）



【出典】

- 1) 農林水産省，食育に関する意識調査報告書（HTML 版）（令和 4 年 3 月），
https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/r04/pdf_index.html

【出題意図】

日本の食文化の継承に関して調査した種々のデータを読み取る論理的な思考力・判断力を見る。また、読み取った内容を言葉で丁寧に論述する力を見る。さらに、読み取ったデータを基にした論理的な思考展開に基づく論述、および自分の意見を論述する表現力を見る。また、データの解釈に必要な不可欠な四則演算の能力を測る。

【採点基準】

- ・図表を正しく読み取り表現している。
- ・数値計算ができています。
- ・事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・自分の考えを主体的・独創的に表現し、かつ多様性の尊重と受容姿勢がある。
- ・規定文字数の範囲内である。
- ・誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく、国語的観点からも優れている。
- ・出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【解答のポイント】

受験者により、多様な解答があるため解答例は示さないが、概ね次の内容を示していることが望ましい。

- ・正しく計算できている
 - 図 3 の「伝えている」・・・ 1076 人（整数になっていないものは不正解）
 - 図 3 の「伝えていない」・・・ 465 人（整数になっていないものは不正解）
 - 図 4 の「伝えている」・・・ 1074 人（整数になっていないものは不正解）
 - 図 4 の「伝えていない」・・・ 465 人（整数になっていないものは不正解）
 - ・食文化を受け継ぐことの意識調査（図 1）について丁寧に記述している
（例えば、約 9 割が受け継ぐことは大事であると思っている、など）
 - ・食文化の受け継ぎに関する意識調査（図 2）について丁寧に記述している。
（例えば、食文化を受け継いでいると回答した者は、全体の 64.4%である、など）
 - ・食文化継承に関する内容（図 3、図 4）について、母集団の違いによる結果の違いを丁寧に記述している
- （設問 1 の結果から、母集団が変わっても、「伝えている」とした者と「伝えていない」とした者の人数がほぼ同じであるので、図 3 での回答者と図 4 の回答者はほぼ同一とみなすことができる。ここから、「食文化を受け継いでいる」と考えている者しか、食文化を伝えていないということが読み取れる。さらに、このことから、食文化の継承には、食文化を受け継いでいることを認識することが必要であるということも読み取れる、などが述べられている）
- ・データを基に日本の食文化の継承に関する食育状況についての説明及び受験者の意見が論理的に述べられている

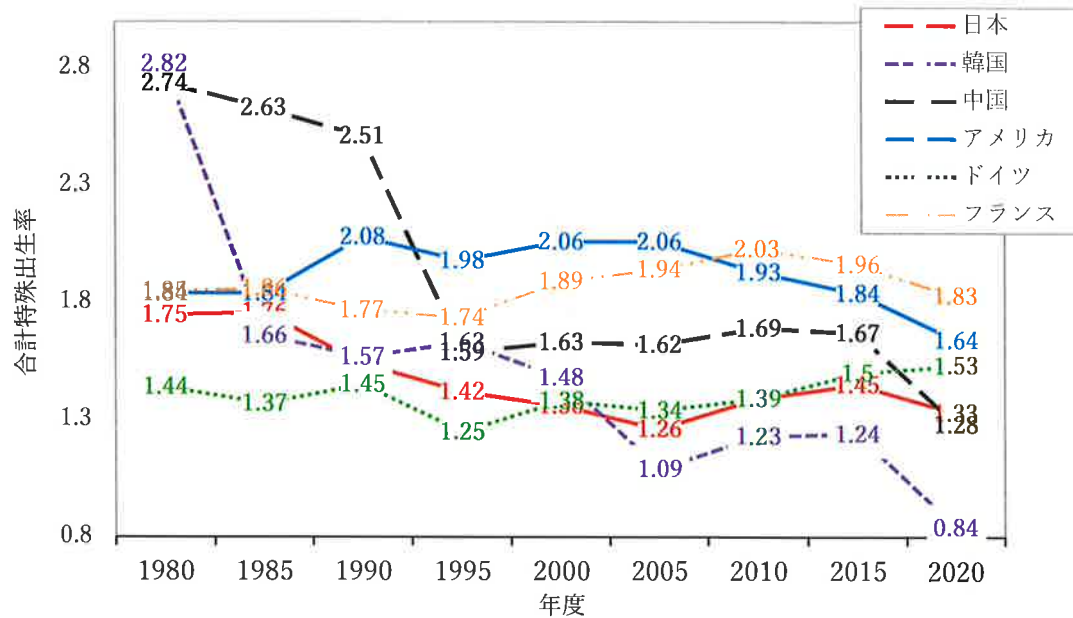
令和7年度 保育学科 特別奨学生学校推薦型選抜 小論文問題

設問

日本の少子化の現状について、資料1 および資料2 から読み取れることを記述すると共に、あなたが保育者となった場合に、どのような点で少子化への対策に貢献できるのか、あなたの意見を述べなさい。

(800字以内、横書きとする)

資料1 各国の合計特殊出生率*の推移



Fertility rate, total (births per woman), Data Indicators, World Bank より作成

*合計特殊出生率：15-49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの（厚生労働省）

資料2 「直系家族」としての少子化

今回の新型コロナウイルスのパンデミックは、世界各国の現状を浮き彫りにはしましたが、大きな歴史の流れに何か新しい変化を加えたわけではない、と私は見ています。世界各国の「死者数」は膨大ですが、その大部分は高齢者です。現役世代の死者はわずかで、コロナ以前に想定されていた高齢者の寿命を縮めたにすぎず、人口動態全体に与えるインパクトは大きくありません。むしろ「出生数の減少」と「自粛生活が全世代の平均寿命にもたらす悪影響」の方が今後、明らかになってくるでしょう。要するに、「高齢者」の「健康」を守るために、「若者」と「現役世代」の「生活」に犠牲を強いたわけで、その傾向は、例えば「老人支配」の度合いの弱い英米よりも、日本のような「老人支配」の度合いの強い国ほど顕著です。日本は「コロナによる死亡率」を最小限に抑えましたが、社会が存続する上で「高齢者の死亡率」よりも重要なのは「出生率」であることを忘れてはいけません。

「絶対核家族（親の遺言で相続者を指名）」の英米や「平等主義核家族（平等に分割相続）」のフランスよりも、日本で老人が敬われるのは、「直系家族（長子相続）」という日本の家族構造が関係しています。「家族」を重視することで、日本の優れた社会の基礎が築かれてきたわけですが、例えば、子育てのすべてを「家族」で賄うことなど、もはやできません。老人介護も同様です。「家族」の過剰な重視が「家族」を殺す——「家族」にすべてを負担させようとする、現在の日本の「非婚化」や「少子化」が示しているように、かえって「家族」を消滅させてしまうのです。「家族」を救うためにも、公的扶助によって「家族」の負担を軽減する必要があります。

エマニュエル・トッド『老人支配国家 日本の危機』（文春文庫、2021年）pp.14-15 より一部改変

【出題意図】

現代社会における「保育」に関する課題の一つである「日本の少子化の現状」についての知識を問う。また、本文および資料を読み取り、文章を理解する読解力、論理的な思考力・判断力をもとに、自分の意見を論述する表現力をみる。

【採点基準】

- ・ 図表を正しく読み取り表現している。
- ・ 事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・ 自分の考えを主体的・独創的に表現し、かつ多様性の尊重と受容姿勢がある。
- ・ 規定文字数の範囲内である。
- ・ 誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく、国語的観点からも優れている。
- ・ 出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【採点ポイント】

- ・ 少子化への対策に関して自分ができる貢献についての記述がある。
- ・ 欧米諸国とアジア諸国とで少子化の傾向に差があることに言及している。
- ・ 少子化と家族の形態を関連させて考えている。
- ・ 子育ての社会化について言及している。
- ・ 自分なりの少子化の理由を述べている。

令和 6 年度 保育学科 小論文問題

特別奨学生 学校推薦型選抜

設問

資料 1 は、内閣府「令和 4 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」の一部である。この資料から読み取れることを述べるとともに、低年齢層の子供が情報機器やインターネットを利用することについてあなたの意見を述べなさい。

(800 字以内、横書きとする)

資料 1 子供のインターネットの利用内容（年齢別）

	アンケートの回答者数（人）	インターネットを「使っている」と回答した人数（人）	インターネットを「使っている」と回答した割合（％）	投稿やメッセージ交換をする（メールやチャットを含む）	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする（動画撮影や音楽制作、編集を含む）	その他
	人	人	％	％	％	％	％	％	％	％	％	％	％	％	％	％
【総数】	2088	1554	74.4	12.2	4.7	24.5	5.8	27.2	93.4	2.4	1.5	60.6	0.6	36.6	17.1	8
〔子供の年齢別〕																
0 歳	107	14	13.1	-	-	-	-	35.7	100	-	-	-	-	-	-	-
1 歳	133	38	28.6	2.6	7.9	-	-	39.5	100	-	-	2.6	-	2.6	2.6	5.3
2 歳	168	105	62.5	1	-	1	1	12.4	96.2	-	-	17.1	-	1	1.9	3.8
3 歳	163	100	61.3	3	1	2	1	25	95	-	-	32	-	5	7	4
4 歳	196	144	73.5	3.5	2.1	2.1	1.4	28.5	98.6	1.4	0.7	47.2	-	14.6	11.1	4.2
5 歳	229	177	77.3	1.7	1.7	7.3	2.3	27.1	97.2	2.3	-	55.9	1.1	15.3	6.8	4.5
6 歳	240	196	81.7	5.6	2.6	12.2	3.6	21.4	93.4	2	1	68.4	1.5	30.1	15.8	7.7
7 歳	259	235	90.7	14	5.5	30.6	10.6	23	93.2	4.7	1.3	72.3	-	51.9	23.8	14.9
8 歳	276	254	92	21.7	5.5	37.4	7.1	31.1	88.2	2.4	2	76	0.4	61	21.7	9.8
9 歳	317	291	91.8	26.5	10.7	58.4	11	34.4	90.4	3.4	4.5	77.7	1	61.2	29.2	8.6

※アンケートの回答は子供の保護者が行ったものである。

※インターネットの利用内容の割合は、子供がインターネットを「使っている」と回答した人の中で、子供がインターネットを使って何をしているか、当てはまる項目を全て選択し回答した割合である。

内閣府「令和 4 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書（HTML 版）」（2023）

「第 2 部 調査結果 第 3 章 低年齢層の子供の保護者調査の結果」より一部改変作成

【出題意図】

現代社会における「保育」に関する課題の一つである「子供のインターネットの利用」についての知識を問う。また、本文および資料を読み取り、文章を理解する読解力、論理的な思考力・判断力をもとに、自分の意見を論述する表現力をみる。

【採点基準】

- ・ 図表を正しく読み取り表現している。
- ・ 事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・ 自分の考えを主体的・独創的に表現し、かつ多様性の尊重と受容姿勢がある。
- ・ 規定文字数の範囲内である。
- ・ 誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく、国語的観点からも優れている。
- ・ 出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【採点ポイント】

<読み取れること>

- ・ 年齢の変化とともにインターネットの利用内容がどのように変化しているか
- ・ 低年齢層ではどの利用内容が多く、どの利用内容が少ないのか、など
例：どの年齢も動画視聴の割合が多いが、年齢とともに他の利用内容が増えていく。
例：「ゲーム」と「勉強」の利用率は年齢とともに上昇していくが、「勉強」よりも「ゲーム」の方が高い上昇率となっている。
例：「ニュース」「検索」「地図」「読書」「買い物」で利用することは、低年齢層ではほとんど無いことがわかる。

<あなたの意見>

- ・ 子供が情報機器やインターネットを利用することの良い部分や悪い部分を自分の考えとして述べられているかどうか
- ・ 子供の情報機器の活用に賛成や反対（もしくは両方）をした場合、その理由が明確に述べられているかどうか、など。
例：動画視聴のように情報機器から子供に一方的に情報を与えられる状態は、子供自身が日常生活のなかで何かを発見をする機会が失われるため好ましくない。
例：アプリやゲームの中には、子供の自発的な遊びを助けてくれるものがあり、そういった意味での情報機器の活用は好ましいと考える。
例：小学校ではタブレットを使った授業やプログラミング教育の導入が行われており、幼児教育の中の遊びについても、情報機器に触れる機会が必要である。
例：幼児教育では、身の回りのものや自然物に触れることが大切であり、画面の中の出来事を見るだけの体験は避けるべきである。よって、スマートフォンやタブレットなど、子供が情報機器の活用することに反対である。

令和5年度 保育学科 小論文問題

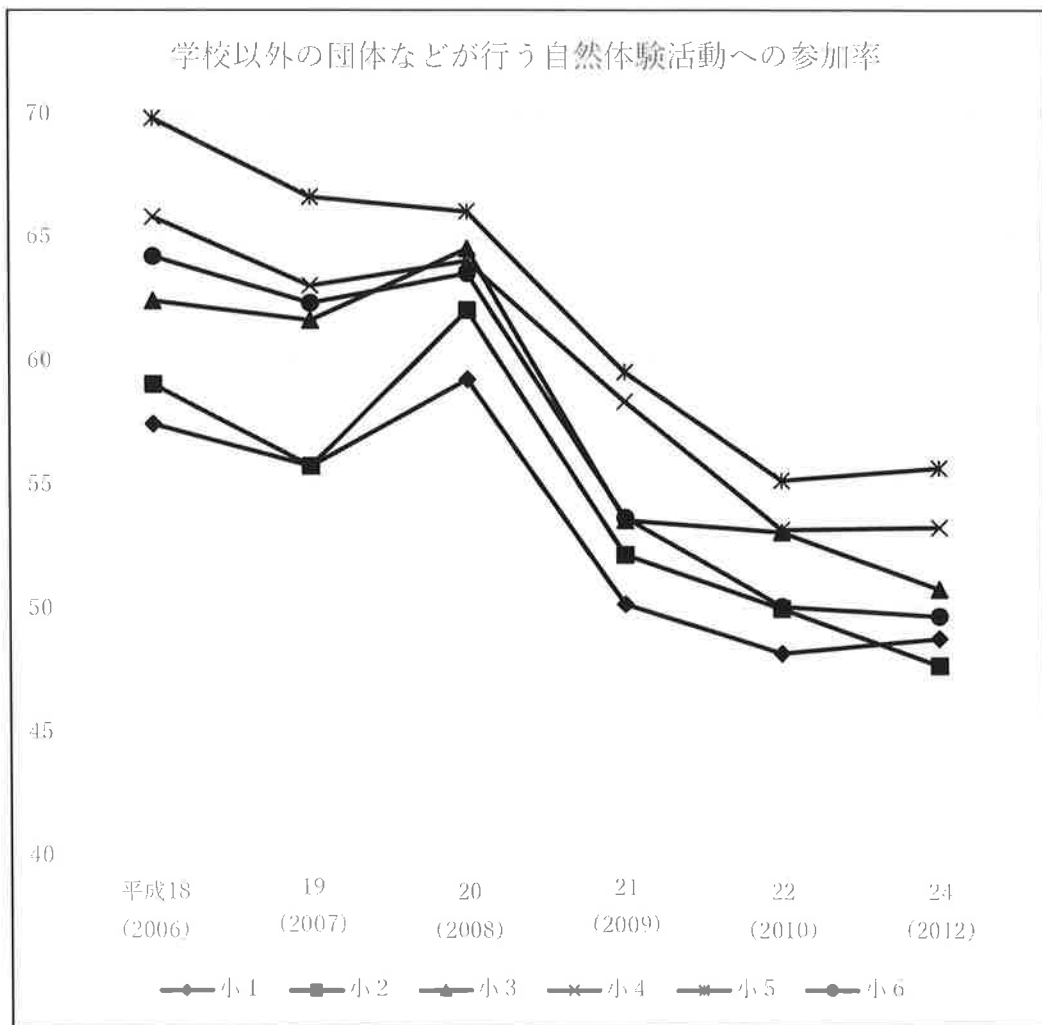
特別奨学生 学校推薦型選抜

設問

資料1は、国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査（平成24年度調査）」報告書（平成26年3月）の学校以外の団体が行う自然体験活動への参加率を示したグラフである。このグラフから読み取れることを述べるとともに、それを踏まえて幼児期に必要な活動や経験について、あなたの意見を述べなさい。

（800字以内、横書きとする）

資料1 学校以外の団体などが行う自然体験活動への参加率



※平成23年度は、調査を実施していない。

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査（平成24年度調査）」（2014）

図198「4月から調査時期までの自然体験活動への参加率」（p. 92）より作成

【出題意図】

現代社会における「保育」に関する課題の一つである「自然体験活動」についての知識を問う。また、本文および資料を読み取り、文章を理解する読解力、論理的な思考力・判断力をもとに、自分の意見を論述する表現力をみる。

【採点基準】

- ・ 図表を正しく読み取り表現している。
- ・ 事実に基づき適切に自分の考えを論理展開している。
- ・ 自分の考えを主体的・独創的に表現し、かつ多様性の尊重と受容姿勢がある。
- ・ 規定文字数の範囲内である。
- ・ 誤字・脱字なく言葉を適切に使用し、段落落とし等の文法上の誤りなく、国語的観点からも優れている。
- ・ 出題内容に関する知識・理解および思考力、判断力がある。

【採点ポイント】

- ・ どの学年においても自然体験活動への参加率が急激に低下していること。
- ・ 急激な変化の背景について言及されていること。例：3 間（時間・仲間・空間）の減少、スマホ・ゲームの普及など
- ・ 保育園や幼稚園では、乳幼児などの早い段階から生活環境を見直していく必要があること。
- ・ 保育園や幼稚園ばかりではなく、家庭や地域と連携して子どもに自然と触れ合う機会を提供していく必要があること。
- ・ 幼少期において、自然に親しみ、植物や生き物に触れる経験を広げていく必要があること。また、その具体策を明示していること。
- ・ 幼少期において、季節により自然や生活に変化のあることに気付く経験を広げていく必要があること。また、その具体策を明示していること。